



serena.com

SERENA[®]

PVCS[®] VERSION MANAGER[™] 8.1.4

Web クライアントユーザガイド

Serena が著作権を有する機密情報



Copyright © 2000–2007 Serena Software, Inc. All rights reserved.

本マニュアルとここで説明されているソフトウェアは、ライセンス下で提供されており、ライセンスの条件に従ってのみ使用またはコピーすることが許可されています。ライセンスで許可されていない限り、本書のいかなる部分も、Serena の文書による事前許可なく、いかなる形式または電子的、機械的記録方法で、複写、保存システムへの保管、転送することはできません。複製されたドキュメントには、全部または一部であるかにかかわらず、この著作権の記述すべてが、変更されることなく含まれていなければなりません。

このドキュメントには Serena Software が所有する機密情報が含まれており、Serena Software による明示的な許可なしに内容の複製や配布を行うことは禁じられています。

このドキュメントの内容は、情報提供のみを目的としており、予告なしに変更される可能性があり、Serena による確約と解釈されるべきものではありません。Serena は、本書のエラーまたは不正確性についていかなる責任も義務も負うことはありません。

商標

Serena, TeamTrack, StarTool, PVCS, Collage, Comparex, Dimensions, RTM, Change Governance および ChangeMan は、Serena Software, Inc. の登録商標です。Serena ロゴ、Professional, Version Manager, Builder, Meritage, Command Center, Composer, Reviewer, Mariner および Mover は、Serena Software, Inc. の商標です。

その他のすべての製品または企業名は、識別する目的でのみ使用されており、それぞれの所有者の商標である場合があります。

米国政府の権利

米国政府、その機関、および手段用またはそれらに代わって、本同意書のライセンスによって取得されたすべてのソフトウェア製品は、FAR によって定義されている「商用ソフトウェア」です。米国政府による使用、複製、公開は、ソフトウェアを取得したライセンスによる制限の対象となります。製造元：Serena Software, Inc., 2755 Campus Drive, San Mateo, CA 94403。

部品番号：MA-VMWEB-J03

発行日：2007 年 3 月

目次

	Version Manager へようこそ	7
	表記上の規則	7
	技術サポートへのお問い合わせ	8
第 1 章	Version Manager Web クライアントの基礎	9
	Version Manager Web クライアントの概要	10
	Version Manager Web クライアントの機能	10
	Version Manager Web クライアントのコンポーネント	11
	Version Manager と Version Manager Web クライアントの 使用	11
	Version Manager Web クライアントと TrackerLink (Tracker) の使用. TrackerLink の使用	13 13
	Version Manager Web クライアントと SourceBridge (TeamTrack) の使用 SourceBridge の使用	15 15
	Version Manager Web クライアントの旧リリースとの使用	18
	必要なシステム構成	18
第 2 章	はじめに	19
	Version Manager Web クライアントアプレットのインストール	20
	Version Manager Web クライアントへの接続	20
	プロジェクトデータベースへのログイン	22
	パスワードの変更	24
	ユーザの変更	25
	プロジェクトデータベースからのログアウト	25
第 3 章	インターフェイスの操作	27
	Version Manager Web クライアントの表示部	28
	プロジェクト表示部での操作	28
	内容表示部での操作	29
	リビジョン表示部での操作	30
	メニュー表示部での操作	32
	ステータス表示部での操作	35
	アイテムの選択	36
	アイテムの移動	37
	アイテム名の変更	38
	アイテムの削除	39

	アイテムのプロパティの参照	40
	表示のフィルタ	41
	ファイルの再帰的な表示	42
	ロック設定者によるフィルタ	43
	ワイルドカードを使用したファイル名によるフィルタ	44
	バージョンラベルによるフィルタ	45
	プロモーショングループによるフィルタ	46
	2つのバージョンラベル間の比較によるフィルタ	48
	2つのプロモーショングループの比較によるフィルタ	50
	バージョンの比較によるフィルタ	
	ラベルとプロモーショングループ	51
	全バージョン管理ファイルの表示 (フィルタなし)	53
第4章	環境のカスタマイズ	55
	Version Manager Web クライアントオプションの設定	56
	デフォルトの Version Manager Web クライアントオプション	56
	1 ページあたりのアイテム数の設定	57
	フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定	57
	チェックイン/チェックアウトオプションの定義	58
	サブプロジェクトへのアクションの実行	58
	アクションが正常終了した後で結果のダイアログボックスを自動的に画面から 消去する	59
	デフォルトエディタの設定	59
	ワークスペースのプロパティ	60
	ワークスペースの設定	61
	作業ファイルの場所の設定	62
	デフォルトリビジョンの定義	63
	自動ブランチの有効化	63
	デフォルトのプロモーショングループの定義	64
第5章	ファイルの比較	67
	ファイルの比較について	68
	相違点の表示	68
	相違点の解釈	70
	相違点の例	71
第6章	ファイルのマージ	73
	マージについて	74
	マージの用語と定義	74
	マージプロセス	75
	ベースファイルの選択	75
	Windows または UNIX でのファイルのマージ	75
	Windows 版での相違点の解釈	79
	プレースホルダ	79
	競合	81
	UNIX 版での相違点の解釈	81
	プレースホルダ	82
	Windows 版でのファイル間の競合の解決	82
	UNIX 版でのファイル間の競合の解決	83

索引 85

Version Manager へようこそ

ソフトウェアの開発方法に革命をもたらす、用途の広い強力なバージョン管理システム、Serena® PVCS® Version Manager™ Web クライアント を選択いただき、ありがとうございます。

Version Manager では、個々のファイルに対する変更の保存や追跡から、開発サイクル全体の管理および監視に至るまでのすべてのレベルにおいて、ソフトウェア開発プロジェクトを編成、管理、および保護することができます。

このマニュアルの内容 このマニュアルはブラウザベースのインターフェイスを解説します。Version Manager Web クライアントと Version Manager デスクトップクライアントの違い、および Version Manager Web クライアントの基本的な利用方法が説明されています。このマニュアルの内容は、Version Manager の機能と概念を解説した主要マニュアル『Serena PVCS Version Manager ユーザガイド』および Version Manager Web クライアントオンラインヘルプを補足するものです。

Version Manager Web クライアントの実行中は、オンラインヘルプを参照してファイルのチェックアウト、バージョンラベルの管理、プロジェクトへの作業ファイルの追加のような日常的なタスクの操作方法に関する詳しい方法を調べることができます。

詳細情報 Version Manager のマニュアル類、Version Manager の操作方法の概要、およびオンラインヘルプの使用方法については、『Serena PVCS Version Manager 入門ガイド』を参照してください。

対応バージョン このマニュアルの内容は、Version Manager Web クライアントの「バージョン 8.1.4」以降を対象としています。この版によって、このマニュアルの旧版は廃版となります。

表記上の規則

オンラインマニュアルおよびオンラインヘルプでは、以下の表記上の規則を使用しています。これらの表記上の規則は、ドキュメントを利用しやすくするためのものです。さまざまな製品コンポーネントやホストオペレーティングシステムで使用されている標準的な表記上の規則を否定したり、変更したりするものではありません。

表記例	意味
大文字	使用できるキーまたはキーの組み合わせを示します。たとえば、「ENTER キーを押します」などと表記されます。
モノスペース	構文例、ユーザ指定が可能な値、システムから返される結果値などを表します。
モノスペース斜体	ユーザが特定の値を指定する箇所を表します (例: <i>, filename</i>)。
モノスペース太字	実行されたコマンドの結果を表します。
縦線 ()	メニューとそれに関連付けられたコマンドを区切ります。たとえば、[File (ファイル)] [Copy (コピー)] は、[File (ファイル)] メニューの [Copy (コピー)] を選択することを意味します。また、コマンド構文でどちらか一方を選択する必要がある情報を区切ります。
角括弧 []	指定が必須ではないオプションの項目を示します。たとえば、SELECT [DISTINCT] の「DISTINCT」は省略可能なキーワードです。

表記例	意味
...	複数の値を指定できるコマンド引数を示します。
	クリックするショートカットアイコンを示します。ショートカットアイコンは余白に置かれます。

技術サポートへのお問い合わせ

ユーザ登録が完了すると、<http://support.serena.com/> にログインできます。

第 1 章

Version Manager Web クライアントの基礎

Version Manager Web クライアントの概要	10
Version Manager Web クライアントの機能	10
Version Manager Web クライアントのコンポーネント	11
Version Manager と Version Manager Web クライアントの 使用	11
Version Manager Web クライアントと TrackerLink (Tracker) の使用	13
Version Manager Web クライアントと SourceBridge (TeamTrack) の使用	15
Version Manager Web クライアントの旧リリースとの使用	18
必要なシステム構成	18

Version Manager Web クライアントの概要

Serena PVCS Version Manager Web クライアントは、Version Manager の Web 対応クライアントコンポーネントであり、Version Manager プロジェクトにインターネットまたはイントラネットを介してアクセスすることを可能にします。Serena ChangeMan Version Manager Web サーバは、Version Manager の Web 対応サーバである Version Manager Server と組み合わせて使用します。

Version Manager Web クライアントでは、Web ブラウザを使用して、プロジェクトとアーカイブに関する詳細情報を表示したり、ファイルのチェックアウトとチェックイン、ロック/バージョンラベル/プロモーショングループの管理、およびレポートの実行などのタスクを実行したりすることができます。

Version Manager Web クライアントではインターネットまたはイントラネット上の任意の接続ポイントから Version Manager にアクセスできるので、リモートユーザ、モバイルユーザ、またはインターネットベースのプログラミングコンテンツ開発チームメンバーのように Web 主体の環境で作業するユーザに適しています。

また Web ブラウザの軽いインターフェイスによって、あらゆる環境においてユーザと管理者のメンテナンスコストが低くなります。

Version Manager Web クライアントの機能

Version Manager Web クライアントでは、Version Manager の基本的なエンドユーザバージョン管理機能が利用できます。管理機能へのアクセスが必要がないユーザ向けに設計されています。

Serena PVCS Version Manager Web クライアントオンラインヘルプに、これらの機能の詳しい使い方が説明されています。

Version Manager Web クライアントでは、次の機能が利用できます。

- 作業ファイルの追加：プロジェクトデータベースまたはプロジェクトに作業ファイルを追加します。また、サブディレクトリを含むディレクトリ全体を追加できます。プロジェクトデータベース上では、サブプロジェクトを含むプロジェクトとして作成されます。
- プロジェクトの作成：既存の作業ファイル階層とは別に、新規のプロジェクトを新規ディレクトリ構造として手動で作成します。
- チェックインおよびチェックアウト：アーカイブへのファイルのチェックイン、アーカイブからのファイルのチェックアウトを行います。
- 取得：リビジョンのコピーを、チェックアウトせずに取得します。
- ロックおよびロック解除：ファイルのリビジョンのロックとロック解除を行います。
- バージョンラベル：バージョンラベルの割り当て、名前変更、削除を行います。
- プロモーショングループ：リビジョンをプロモートして、プロモーショングループへの割り当ての実行、変更、削除を行います。
- 履歴レポート：アーカイブの詳細を記述したレポートを作成します。
- 相違点レポート：2 つのリビジョン、2 つの作業ファイル、またはリビジョンと作業ファイルを比較します。
- ファイルのマージ：2 つのリビジョン、2 つの作業ファイル、またはリビジョンと作業ファイルをマージします。

- オプション：ダイアログボックスや表示オプションのデフォルト設定を決めます。
- コピーおよび移動：バージョンファイルをプロジェクトやプロジェクトデータベースの間で移動、コピーします。
- ワークスペース：パブリックワークスペースやプライベートワークスペースの作成、名前変更、および削除ができます。
- 名前の変更：プロジェクトや Version Manager 5.3/6.0 フォルダの名前をインターフェイスから変更します。
- 削除：プロジェクトや Version Manager 5.3/6.0 フォルダをインターフェイスから削除します。
- パスワードの変更：プロジェクトデータベースにログインするためのパスワードを変更します。アクセスコントロールデータベースが使用されている場合は、Version Manager のパスワードも変更されます。

Version Manager Web クライアントのコンポーネント

Serena ChangeMan Version Manager Web サーバコンポーネント、サポートされる Web サーバ、Version Manager Web クライアントコンポーネントの各サービスを組み合わせて使用すると、インターネットやイントラネットを介してアーカイブにアクセスすることができます。

Version Manager Web クライアントを使用するには、まず Serena 管理者が、Web サーバを実行しているシステムに Version Manager Web サーバコンポーネントをインストールする必要があります。Version Manager Web サーバが Version Manager プロジェクトとともに使用できるよう設定されたら、管理者から通知される URL を使用して、Version Manager Web クライアントアプレットをインストールすることができます。

ブラウザの設定によっては、クライアントアプレットのインストールを進めるかどうかを確認、または警告するダイアログが表示されます。アプレットの実行時にも、同様のダイアログが表示される場合があります。クライアントアプレットのダウンロードとインストールについての詳細は第 2 章、19 ページの『はじめに』を参照してください。

クライアントアプレットがインストールされたら、Version Manager Web クライアントにログインして、プロジェクトに関する詳細情報を表示したり、Web ブラウザ内からさまざまな操作を実行したりできます。

Version Manager と Version Manager Web クライアントの使用

プロジェクトデータベースのすべての管理作業を行うには、Version Manager が必要です。管理タスクには、プロジェクトデータベースまたはルートの作成と設定、セキュリティの定義、およびプロモーションモデルの設定などが含まれます。

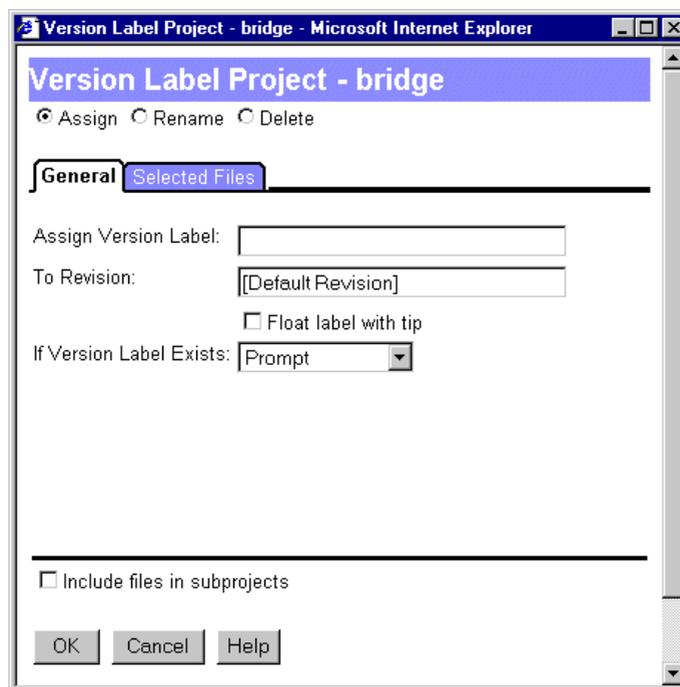
ファイルのチェックアウトや作業ファイルの追加など、Version Manager Web クライアントで実行するエンドユーザタスクのほとんどは、Version Manager デスクトップクライアントと同じ操作で実行できます。操作方法については Version Manager Web クライアントのオンラインヘルプで解説されています。ただし、バージョンラベルやプロモーショングループに関するタスクでは、一部操作方法が異なることがあります。

バージョンラベルとプロモーショングループ

Version Manager でバージョンラベルとプロモーショングループを使うときは、実行したい操作をメニューから選びます。たとえばバージョンラベルの割り当てには [Actions (アクション)] - [Version Label (バージョンラベル)] - [Assign (割り当て)] を、プロモーショングループの削除には [Actions (アクション)] - [Promotion Group (プロモーショングループ)] - [Remove (削除)] を選択します。

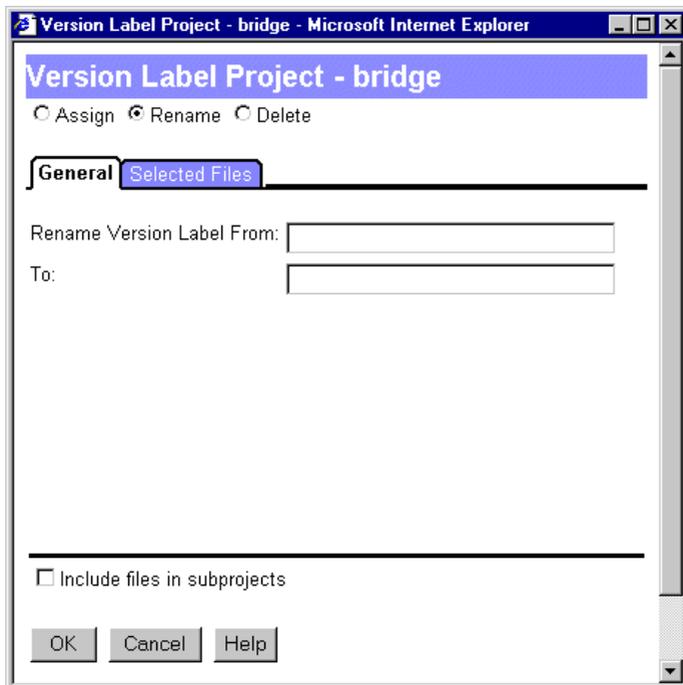
Version Manager Web クライアントでは、バージョンラベルとプロモーショングループに関するすべての操作は [Action (アクション)] メニューの【Label (ラベル)】ボタンまたは【Promote (プロモート)】ボタンを選択して実行します。[Version Label (バージョンラベル)] ダイアログボックスまたは [Promotion Group (プロモーショングループ)] ダイアログボックスの先頭で、実行したい操作を選択します。選択に応じてダイアログボックスの内容が変わります。

たとえば [Actions (アクション)] - [Label (ラベル)] を選択すると、ダイアログボックスは次のように表示されます。デフォルトでは、(Assign (割り当て)) オプションが選択されており、ダイアログボックスの内容はこのオプションに適合するようになっています。



注：バージョンラベルは、リビジョン番号とまぎらわしくない値にしてください。

〈Rename (名前の変更)〉オプションを選択すると、ダイアログボックスは次のようになります。



Version Manager Web クライアントと TrackerLink (Tracker) の使用

TrackerLink を Version Manager Web クライアントや Version Manager デスクトップクライアントから使って、作業ファイルを Serena Tracker の Issue に関連付けることができます。TrackerLink は、Tracker と Version Manager の間の橋渡しとして使えます。作業ファイルのチェックイン、チェックアウト、および追加を行うときに、[TrackerLink Workfile Association (TrackerLink 作業ファイルの関連付け)] ダイアログボックスで作業ファイルを Issue に関連付けることができます。

TrackerLink の設定 TrackerLink を使用する前に、管理者による以下の設定が必要です。

- TrackerLink オプションを設定します。『Serena PVCS Version Manager 管理者ガイド』を参照してください。
- Version Manager プロジェクトデータベースのサブレットに Tracker データベースの URL を関連付けます。詳細については、『Serena PVCS Version Manager インストールガイド』を参照してください。

TrackerLink の使用

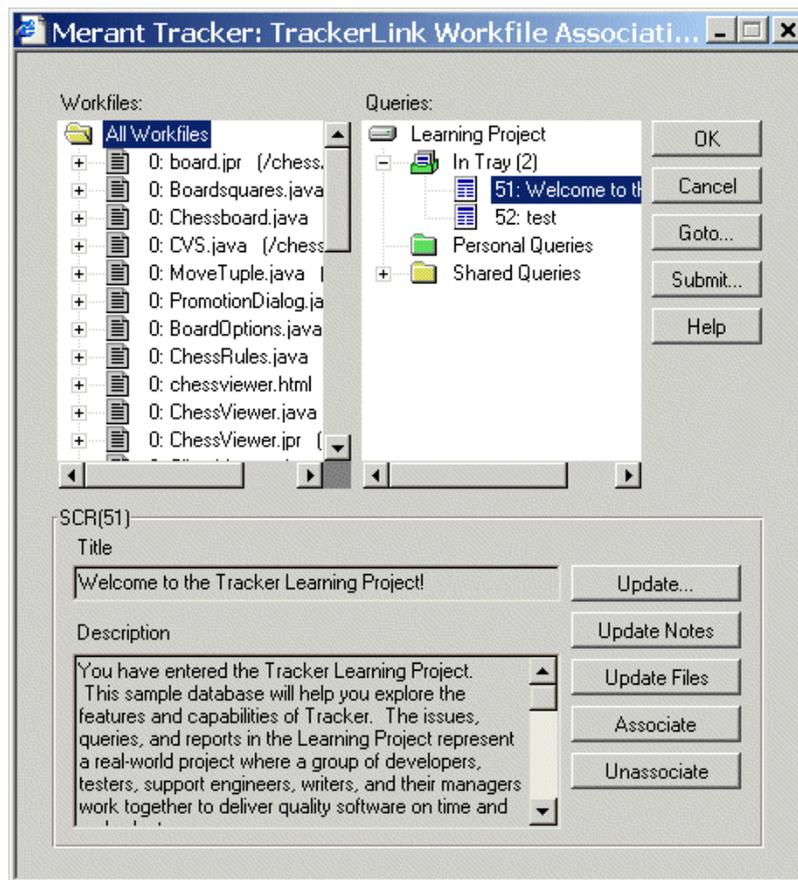
TrackerLink を使って、次の処理で作業ファイルに Issue を関連付けることができます。

- ファイルのチェックアウト
- ファイルのチェックイン
- ファイルのロック
- 新規作業ファイルの追加

Tracker に自動的にログインするよう設定されていない場合は、作業ファイルを関連付けるときにログイン情報を入力するよう求められます。

作業ファイルのチェックインとチェックアウト、作業ファイルの追加、またはファイルのロック時に Issue を関連付けるには

- 1 Issue に関連付けるファイルを選択します。
- 2 チェックイン、チェックアウト、作業ファイルの追加、またはロックの要求を行います。
- 3 [Check Out (チェックアウト)] ダイアログボックス、[Check In (チェックイン)] ダイアログボックス、[Lock (ロック)] ダイアログボックス、[Add Workfiles (作業ファイルの追加)] ダイアログボックスのいずれかで【Associate Issues (Issue の関連付け)】ボタンをクリックします。[TrackerLink Workfile Association (TrackerLink 作業ファイルの関連付け)] ダイアログボックスが表示されます。



- 4 クエリー表示部でクエリーを選択して、関連付ける Issue を検索、選択するためのクエリーを実行するか、トレイから Issue を探します。
- 5 作業ファイル表示部から、Issue に関連付けるファイルを選びます。
- 6 作業ファイルに関連付ける最初の Issue をダブルクリックします。これによって Issue が作業ファイルに関連付けられ、作業ファイル名の左側に表示されている数字が 1 増えます。【Associate (関連付け)】ボタンを使っても、Issue を作業ファイルに関連付けることができます。
- 7 作業ファイル名をダブルクリックすると、現在関連付けられている Issue が表示されます。タイトルと説明が表示されている Issue は、現在選択された状態になっています。

8 関連付けを変更したい場合は、次の操作が行えます。

- 作業ファイル表示部の Issue 番号をダブルクリックすると、関連付けを解除できます。
- Issue を選択し、【Unassociate (関連付けを解除)】をクリックします。



注：複数のファイルを同時に 1 つの Issue に関連付けることはできませんが、クエリーを選択して適合するすべての Issue を 1 つまたは複数の作業ファイルに同時に関連付けることはできません。Issue をひとつずつ選択する必要があります。

関連付けのないファイルでは、現在の作業ファイルの横にプラス記号が表示されます。選択すると、横に <(no associations) ((関連付けなし))> と表示されます。

Tracker Web クライアントの起動

Tracker Web クライアントにアクセスするには、[Action (アクション)] タブの Tracker アイコン



をクリックします。

Version Manager Web クライアントと SourceBridge (TeamTrack) の使用

SourceBridge を Version Manager Web クライアントや Version Manager デスクトップクライアントから使って、作業ファイルを Serena TeamTrack の Issue に関連付けることができます。作業ファイルのチェックイン、チェックアウト、および追加を行うときに、作業ファイルを TeamTrack の Issue に関連付けることができます。

SourceBridge の設定

SourceBridge を使用する前に、管理者による以下の設定が必要です。

- SourceBridge オプションを設定します。『Serena PVCS Version Manager 管理者ガイド』を参照してください。
- Version Manager プロジェクトデータベースのサブレットに TeamTrack データベースの URL を関連付けます。詳細については、『Serena PVCS Version Manager インストールガイド』を参照してください。

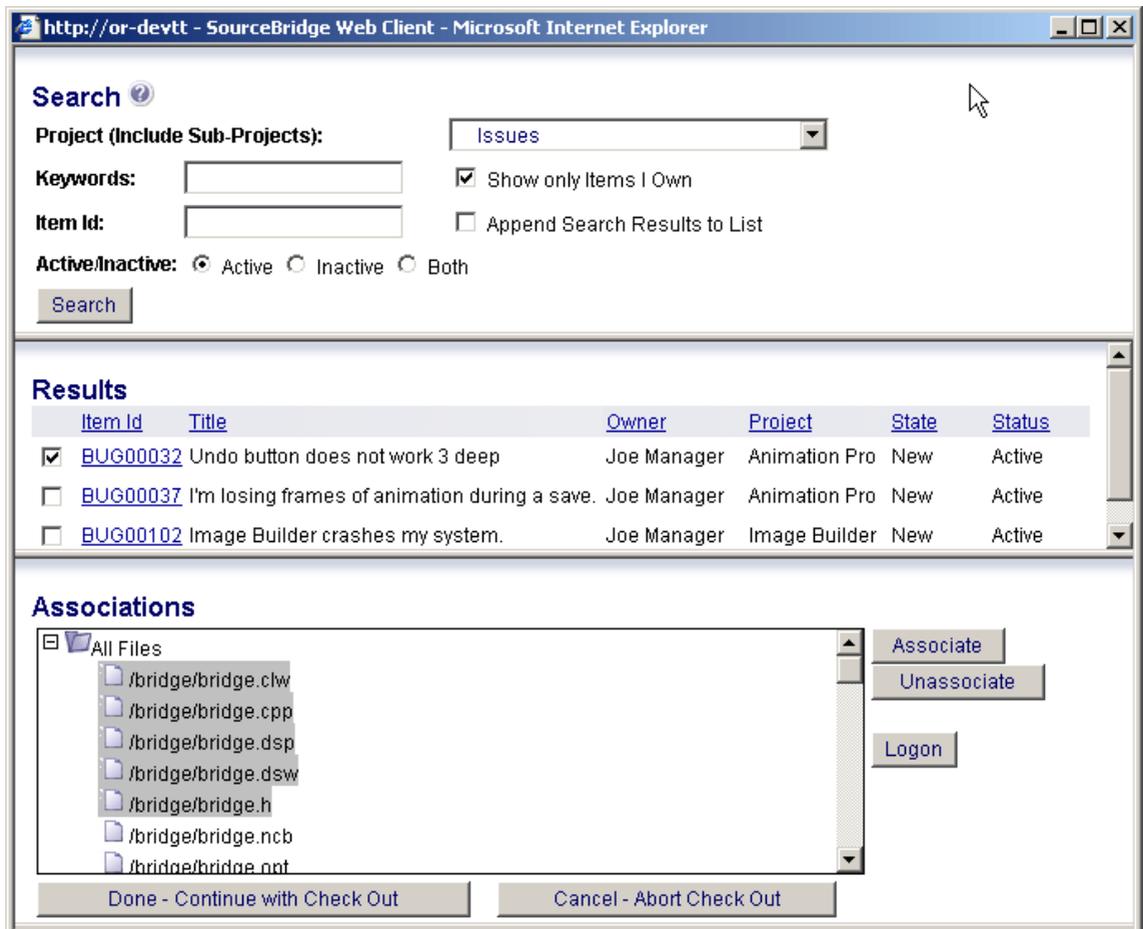
SourceBridge の使用

SourceBridge を使って、次の処理で作業ファイルに Issue を関連付けることができます。

- ファイルのチェックアウト
- ファイルのチェックイン
- ファイルのロック
- 新規作業ファイルの追加

作業ファイルのチェックインとチェックアウト、作業ファイルの追加、またはファイルのロック時に Issue を関連付けるには

- 1 Issue に関連付けるファイルを選択します。
- 2 チェックイン、チェックアウト、作業ファイルの追加、またはロックの要求を行います。
- 3 [Check Out (チェックアウト)] ダイアログボックス、[Check In (チェックイン)] ダイアログボックス、[Lock (ロック)] ダイアログボックス、[Add Workfiles (作業ファイルの追加)] ダイアログボックスのいずれかで【Associate Issues (Issue の関連付け)】ボタンをクリックします。SourceBridge が起動します。



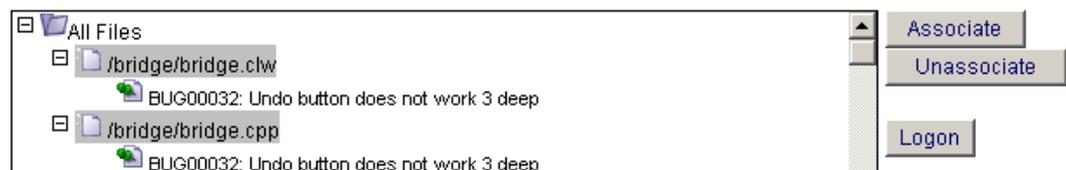
- 検索 4 操作したい Issue を指定するには、次のいずれかのフィールドに入力します。
- Project (includes Sub-Projects) (プロジェクト (サブプロジェクトを含む)) : TeamTrack プロジェクトを選択します。
 - Keywords (キーワード) : 検索するキーワードを入力します。パーセント記号 (%) はワイルドカード文字になります。
 - Show Only Items I Own (自分が所有しているアイテムのみ表示) : 自分が所有しているアイテムのみに検索を限定するには、このチェックボックスを選択します。



注 : 異なるユーザとしてログインするには、【Logon (ログオン)】ボタンをクリックします。

- Item ID (アイテム ID) : 検索するアイテムの ID を入力します。パーセント記号 (%) はワイルドカード文字になります。
 - Append Search Results to List (検索結果をリストに追加) : 現在表示されている結果に新しい検索の結果を追加する場合は、このオプションを選択します。このオプションが選択されていない場合は、新しい検索を実行すると既存の結果は消去されます。
 - Filter on Active/Inactive (アクティブ / 非アクティブでフィルタ) :
 - Active (アクティブ) : アクティブなアイテムのみを検索するには、このオプションを選択します。
 - Inactive (非アクティブ) : 非アクティブなアイテムのみを検索するには、このオプションを選択します。
 - Both (両方) : アイテムのアクティブ / 非アクティブに関係なく検索する場合は、このオプションを選択します。
- 5 【Search (検索)】 ボタンをクリックします。検索結果が結果表示部に表示されます。
- 結果 6 TeamTrack Issue の詳細を表示するには、ID をクリックします。TeamTrack Web クライアントに Issue が表示されます。
- 7 ソース管理下のアイテムに関連付けたい Issue の隣にあるチェックボックスを選択します。
- 関連付け 8 関連付け表示部から、選択されている Issue を関連付けるファイルを選択します。
- 9 【Associate (関連付け)】 ボタンをクリックして、選択した Issue と作業ファイルに関連付けます。関連付け情報は関連付け表示部に表示されます。

Associations



- 10 関連付けを削除するには、関連付け表示部で Issue を選択して【Unassociate (関連付けを解除)】をクリックします。
- 11 【Done - Continue with... (実行 - 続行)】をクリックします。
- 12 TeamTrack Web クライアントの起動

TeamTrack Web は、以下のアイテムをクリックすることで起動できます。

- Version Manager Web クライアントの [Action (アクション)] タブに表示される TeamTrack アイコン 
- SourceBridge の [Associate (関連付け)] ダイアログボックス結果表示部に表示される Issue ID

Version Manager Web クライアントの旧リリースとの使用

Version Manager 5.3/6.0 のプロジェクトルートは、Version Manager を使って最新のフォーマットにアップグレードする必要があります。ただし、Version Manager Web クライアントから 5.3/6.0 プロジェクトをアップグレードせずにアクセスすることも可能です。アップグレードしない場合、大半の機能はサポートされますが、バージョン 5.3/6.0 GUI との互換性を確保するため、一部の制約が適用されます。

以下の操作を行うことはできません。

- Version Manager 5.3/6.0 のプロジェクトルートでプロジェクトの作成、削除、または名前変更を行う。ただし、バージョン 5.3/6.0 のフォルダに対しては、これらのアクションを実行することができます。
- 複数のディレクトリを追加する。ディレクトリ内のすべてのファイルを選択することにより、単一のディレクトリを追加することができます。
- 新しく追加したアーカイブを内容表示部に自動表示する。コマンドラインインターフェイスなど、ほかのインターフェイスからアーカイブが追加された場合、[Update Project Folder (プロジェクトフォルダの更新)] オプションを使用して表示を更新する必要があります。

必要なシステム構成

Version Manager Web クライアントは、Windows および UNIX オペレーティングシステムでサポートされています。サポート対象のプラットフォームとバージョンについては、Version Manager の Readme ファイル (readmevm.html) を参照してください。

第 2 章

はじめに

Version Manager Web クライアントアプレットのインストール	20
Version Manager Web クライアントへの接続	20
プロジェクトデータベースへのログイン	22
パスワードの変更	24
ユーザの変更	25
プロジェクトデータベースからのログアウト	25

Version Manager Web クライアントアプレットのインストール

Serena PVCS Version Manager サーバに接続する前に、Version Manager Web クライアントアプレットをダウンロードして、インストールする必要があります。アプレットをダウンロードしてインストールするには、サポートされている Web ブラウザで Version Manager Web クライアントインストールページを開き、画面の指示に従います。



注：クライアントアプレットはブラウザ固有のものです。複数のブラウザがインストールされている場合には、アプレットをインストールしたいブラウザを選択するようダイアログボックスに表示されます。UNIX 上で Netscape Communicator を使用している場合には、UNIX の管理者によるアプレットのインストールが必要な場合もあります。『Serena PVCS Version Manager インストールガイド』の『Version Manager Web サーバの概要』の章の『Web ブラウザの設定』の項を参照してください。

Version Manager Web クライアントアプレットをダウンロード、インストールするには

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 Version Manager Web クライアントインストールページの URL を開きます。このページの URL は、`http://hostname:port/vminet_install.html` (セキュリティ保護対象外の Web サービスの場合)、または、`https://hostname:port/vminet_install.html` (セキュリティ保護対象の Web サービスの場合) です。ここで、*hostname* は Version Manager サーバをホストするシステムの名前で、*port* は サーバのポートです。



注：ポートを指定する必要がない場合があります。正しい URL については管理者にお問い合わせください。

- 3 画面の指示に従って、クライアントアプレットのダウンロードとインストールを行います。

使用中の Web ブラウザによっては、インストール完了後にブラウザを再起動させる必要があります。インストールに関する手順のページに、ブラウザを再起動させる必要があるかどうかを示しています。

Version Manager Web クライアントへの接続

Web ブラウザと Version Manager プロジェクトデータベースまたはルートとの間にリンクを確立するには、Version Manager Web クライアントに接続します。プロジェクトにログインするには、まず Version Manager Web クライアントに接続する必要があります。

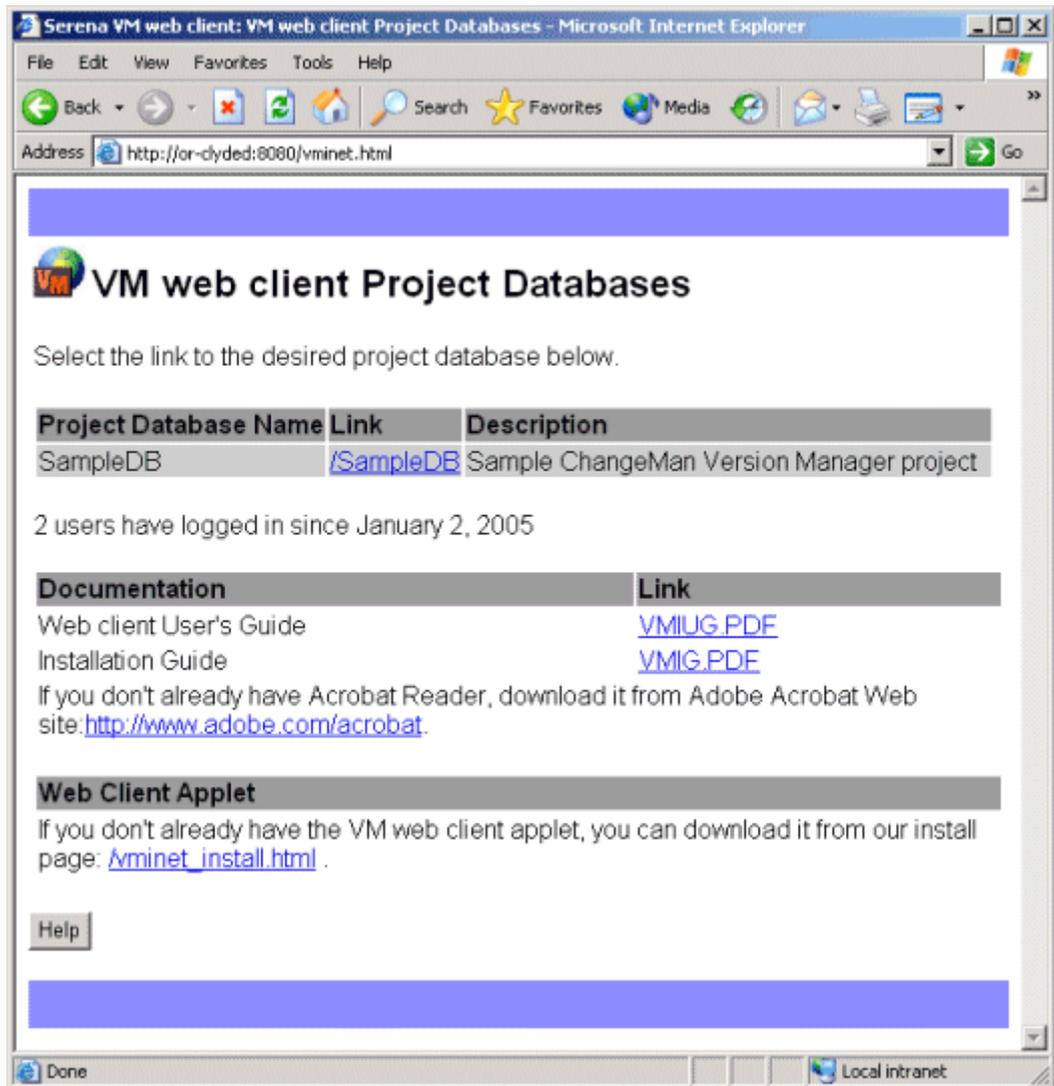


注：プロジェクトデータベースの URL がわかっている場合、または Web ブラウザのブックマークにその場所が記録されている場合、プロジェクトデータベースのページに接続せずに、URL を直接開くことができます。

Web クライアントに接続するには

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 Version Manager Web クライアントのプロジェクトデータベースページの URL を開きます。このページの URL は、`http://hostname:port/vminet.html` (セキュリティ保護対象外の Web サービスの場合)、または、`https://hostname:port/vminet.html` (セキュリティ保護対象の Web サービスの場合) です。ここで、`hostname` は Version Manager サーバをホストするシステムの名前で、`port` は サーバのポートです。

プロジェクトデータベースページが表示されます。



- 3 〈Link (リンク)〉 リストで、接続するプロジェクトデータベースまたはルートの名前をクリックします。



注：プロジェクトデータベースページからは、オンラインマニュアルとクライアントアプレットのインストールページにもアクセスできます。

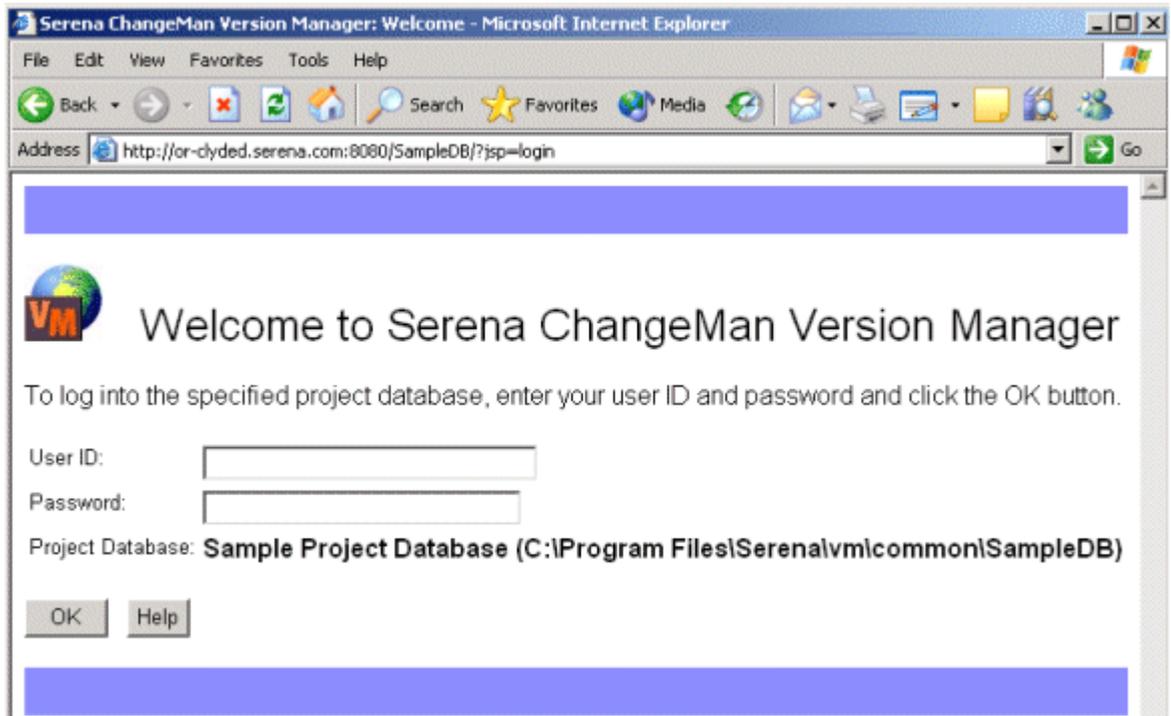
Version Manager サーバへの接続が確立されると、〔Login (ログイン)〕 ページが表示されます。次のセクションに進みます。

プロジェクトデータベースへのログイン

Version Manager のプロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、およびバージョン管理ファイルにアクセスするには、プロジェクトデータベースにログインします。プロジェクトデータベースにログインするには、有効なユーザ ID とパスワードが必要です。通常、ユーザ ID とパスワードは管理者によって割り当てられます。

プロジェクトデータベースにログインするには

- 1 20 ページの『Version Manager Web クライアントへの接続』の説明に従って、Version Manager Web クライアントに接続して、[Login (ログイン)] ページを開きます。[Login (ログイン)] ページが表示されます。



- 2 〈User ID (ユーザ ID)〉フィールドに、ユーザ ID を入力します。



注:プロジェクトデータベースがホスト ID をログインソースとして使用するよう設定されていて、かつ

- パスワードが必要な場合、〈User ID (ユーザ ID)〉フィールドはすでに設定されていて、編集できません。
- パスワードが不要な場合、ユーザは自動的にログインし、ログインダイアログボックスは表示されません。

- 3 〈Password (パスワード)〉フィールドにパスワードを入力します。

**注：**

- Version Manager デスクトップクライアントでプロジェクトデータベースに対するパスワードが設定されている場合、Web クライアントのパスワードはデスクトップクライアントのパスワードと同一です。
- セキュリティ上の理由のため、IME は〈Password (パスワード)〉フィールドでは無効になります。このフィールドには、全角文字を入力することはできません。

- 4 【OK】をクリックします。

管理者がプロジェクトに対してアクセスコントロールデータベースを設定している場合は、プロジェクトにもログインする必要があります。この場合、プロジェクトを選択すると、〔Login (ログイン)〕ページが表示されます。

プロジェクトにログインするには

- 1 〈User ID (ユーザ ID)〉フィールドに、ユーザ ID を入力します。



注：プロジェクトデータベースがホスト ID をログインソースとして使用するよう設定されていて、かつ。

- パスワードが必要な場合、〈User ID (ユーザ ID)〉フィールドはすでに設定されていて、編集できません。
- パスワードが不要な場合、ユーザは自動的にログインし、ログインダイアログボックスは表示されません。

- 2 〈Password (パスワード)〉フィールドにパスワードを入力します。

**注：**

- Version Manager デスクトップクライアントでプロジェクトに対するパスワードが設定されている場合、Web クライアントのパスワードはデスクトップクライアントのパスワードと同一です。
- セキュリティ上の理由のため、IME は〈Password (パスワード)〉フィールドでは無効になります。このフィールドには、全角文字を入力することはできません。

- 3 この情報を保存して、今後の Version Manager Web クライアントセッションでプロジェクトにログインしなくても済むようにするには、〈Remember this user name/password (ユーザ名とパスワードを保存)〉オプションを選択します。

- 4 【OK】をクリックします。

パスワードの変更

管理者によって割り当てられたパスワードはいつでも変更することができます。変更対象のパスワードは、[Login (ログイン)] ページで入力したパスワードです。パスワードを変更すると、新しいパスワードは、次回 Version Manager Web クライアントにログインしたときに有効になります。

このプロジェクトデータベースに対して Version Manager 内でのセキュリティ保護が有効である場合には、Version Manager Web クライアント内でパスワードを変更すると、デスクトップクライアント内でもパスワードが変更されます。逆も同様です。

パスワードを変更するには

- 1 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Change Password (パスワードの変更)】 ボタンをクリックします。[Change Password (パスワードの変更)] ダイアログボックスが表示されます。



Change Password

Old password:

New password:

Verify new password:

OK Cancel Help

- 2 <Old password (現在のパスワード)> フィールドに現在のパスワードを入力します。
- 3 <New password (新しいパスワード)> フィールドに、新しいパスワードを 29 文字以下で入力します。
- 4 <Verify new password (パスワードの確認)> フィールドに、新規パスワードを再入力します。
- 5 【OK】 をクリックします。

ユーザの変更

開いているプロジェクトデータベースまたはプロジェクトの作業は、別のユーザ名およびパスワードを使用して継続することができます。〔Switch User (ユーザの変更)〕オプションを使用すると、プロジェクトデータベースを閉じて、再び開かなくても、別の権限を持つユーザ ID にすばやく切り替えることができます。

プロジェクトデータベースまたはプロジェクトのユーザを切り替えるには

- 1 [File (ファイル)] メニューのタブで、〔Switch User (ユーザの変更)〕 ボタンをクリックします。
〔Switch User (ユーザの変更)〕 ダイアログボックスが表示されます。

Switch User

User ID:

Password:

Project **Sample Project Database**

Database: **(D:\Merant\vm\common\SampleDB)**

OK Cancel Help

- 2 〈User ID (ユーザ ID)〉 フィールドに、新しいユーザ ID を入力します。
- 3 必要に応じて、〈Password (パスワード)〉 フィールドに、パスワードを入力します。
- 4 【OK】 をクリックします。

プロジェクトデータベースからのログアウト

ソース管理タスクを完了した場合、または別のプロジェクトデータベースにログインする必要がある場合は、プロジェクトデータベースからログアウトします。プロジェクトデータベースからログアウトすると、Version Manager Web クライアントのセッションはただちに終了され、次回 Version Manager のプロジェクトデータベースにアクセスする際には、ユーザ ID とパスワードを再度入力する必要があります。

プロジェクトデータベースからログアウトするには

- メニュータブの右側にある〔Logout (ログアウト)〕 ボタンをクリックします。〔Logout (ログアウト)〕 ページが表示されます。

- 別のプロジェクトデータベースにログインするには、vminet.html リンクをクリックして、このサーバで使用できるプロジェクトデータベースのリストを表示します。



注：サーブレットの設定によっては、プロジェクトデータベースから明示的にログアウトしない場合、何も操作しない状態が続くと強制的にログアウトさせられることがあります。

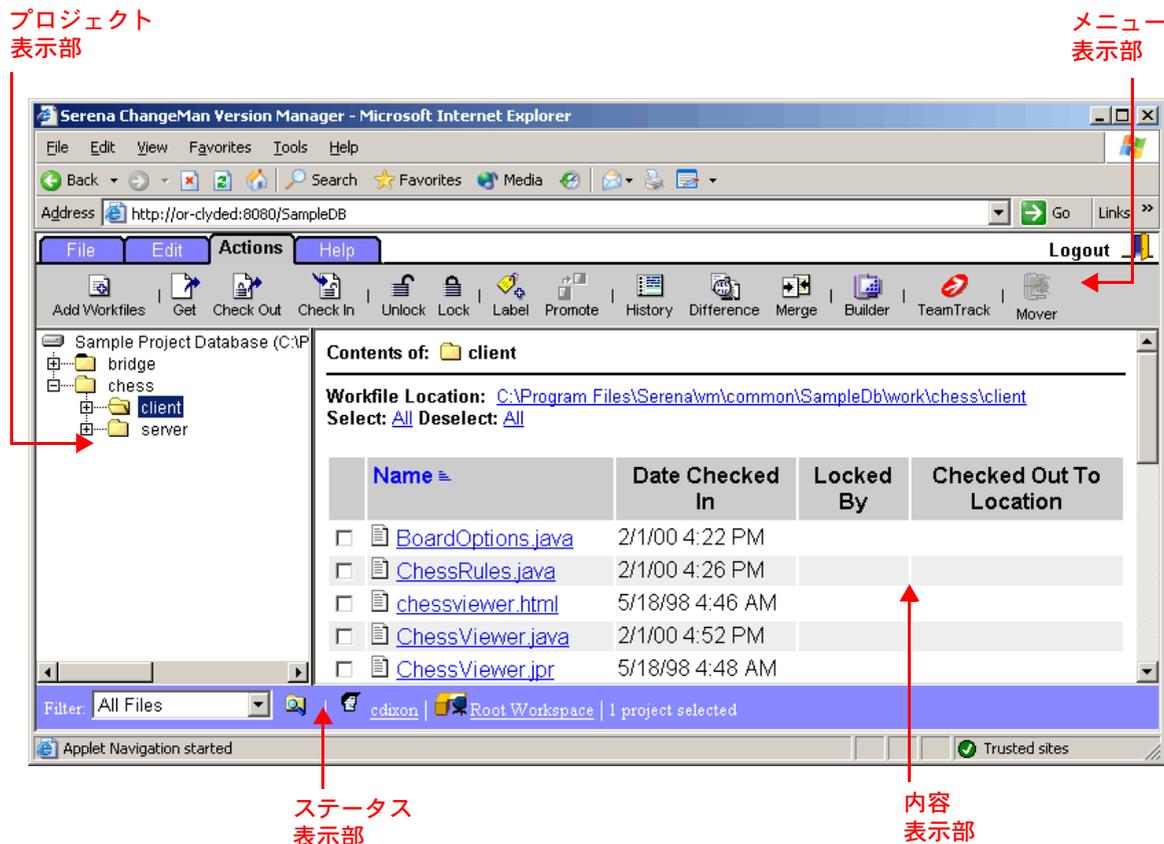
第 3 章

インターフェイスの操作

Version Manager Web クライアントの表示部	28
アイテムの選択	36
アイテムの移動	37
アイテム名の変更	38
アイテムの削除	39
アイテムのプロパティの参照	40
表示のフィルタ	41

Version Manager Web クライアントの表示部

プロジェクトデータベースにログインしたら、Serena PVCS Version Manager Web クライアントインターフェイスを操作して、プロジェクトデータベース内にあるプロジェクト、サブプロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、バージョン管理ファイル、およびリビジョンを表示します。Version Manager Web クライアントインターフェイスは、次の 5 つの表示部で構成されます。プロジェクト表示部、内容表示部、リビジョン表示部（下図には表示されていません）、メニュー表示部、および、ステータス表示部。



プロジェクト表示部での操作

プロジェクト表示部には、開いているプロジェクトデータベースおよびそのプロジェクト、サブプロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダが階層ツリーで表示されます。このツリーを展開または縮小するには、+ または - をクリックします。プロジェクト、サブプロジェクト、またはバージョン 5.3/6.0 フォルダを選択する場合には、そのバージョン管理ファイルが内容表示部右側に表示されます。

プロジェクト表示部には、以下のアイコンが表示される場合があります。

アイコン	説明
	名前および場所（カッコ内）が表示された、開かれているプロジェクトデータベース。バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトデータベースは、その場所だけが表示されます。
	プロジェクト、サブプロジェクト、またはフォルダ。バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトまたはフォルダに対するアイコンは、青色で表示されます。
	コンフィグレーションファイルが添付されているプロジェクト。これらのコンフィグレーション設定は、プロジェクトデータベース設定より優先されます。バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトに対するアイコンは、青色で表示されます。
	アクセスコントロールデータベースにユーザとして定義されていないため開くことができないプロジェクト。バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトに対するアイコンは、青色で表示されます。

内容表示部での操作

内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したプロジェクトデータベースまたはプロジェクトに含まれるバージョン管理ファイルが表示されます。次のように操作してください。

- アクションに関するバージョン管理ファイルを選択するには、ファイルの隣のチェックボックスを選択します。
- デフォルトエディタまたはブラウザでバージョン管理ファイルを編集または表示するには、ファイルのアイコンをクリックします。



注：デフォルトエディタ設定についての詳細は、[59 ページの『デフォルトエディタの設定』](#)を参照してください。

- リビジョン表示部を開いて、バージョン管理ファイル内のすべてのリビジョンの詳細を表示するには、ファイル名をクリックします。
- バージョン管理ファイルをソートするには、ソートの基準となる列の見出しをクリックします。ソート順を逆にするには、列の見出しを再度クリックします。

内容表示部には、以下のフィールドとアイコンが含まれます。

フィールドまたはアイコン	説明
Contents of (内容)	バージョン管理ファイルが存在するプロジェクトデータベースまたはプロジェクトの名前を表示します。
Workfile Location (作業ファイルの場所)	プロジェクトの作業ファイルの場所を表示します。
Page (ページ)	ページに収まりきらないアイテムがある場合にのみ表示されます。前のページ、次のページ、または特定のページに移動するには、【Previous (前のページ)】、【Next (次のページ)】、または【number (ページ番号)】をクリックします。最下部の〈Page Index (ページ索引)〉に進むには、〈Index (ページ索引先頭を表示)〉をクリックします。〈Page Index (ページ索引)〉には、各ページの最初と最後のファイルが一覧表示されています。 このフィールドは、ページの最下部にも表示されます。ただし、〈Index (ページ索引先頭を表示)〉リンクは、ページの最上部に移動するための〈Top (先頭を表示)〉に変わっています。
Select/Deselect (選択 / 選択解除)	すべてのアイテムを選択および選択解除します。すべてのアイテムが1ページに収まりきらない場合は、現在のページ上のすべてのアイテムを選択します。
Name (名前)	バージョン管理ファイルの名前。クリックすると、リビジョン表示部が開きます。
Date Checked In (チェックイン日時)	バージョン管理ファイルが最後にチェックインされた日付と時刻。
Locked by (ロック)	アイテムを現在ロックしているユーザの ID。
Checked Out To Location (チェックアウト先)	バージョン管理ファイルがチェックアウトされている場合、ファイルのチェックアウト先のパスを表示します。
	ロックされたリビジョンを含まないバージョン管理ファイル。デフォルトエディタでファイルを表示または編集します。
	ロックされたリビジョンを含むバージョン管理ファイル。デフォルトエディタでファイルを表示または編集します。
	見つからないアーカイブを参照しているバージョン管理ファイル。
Page Index (ページ索引)	ページに収まりきらないアイテムがある場合にのみ表示されます。ページ番号および各ページの最初と最後のファイルを表示します。

リビジョン表示部での操作

バージョン管理ファイルのリンクをクリックすると、リビジョン表示部が表示されます。リビジョン表示部には、バージョン管理ファイルのすべてのリビジョンに関する詳細が表示されます。次のように操作してください。

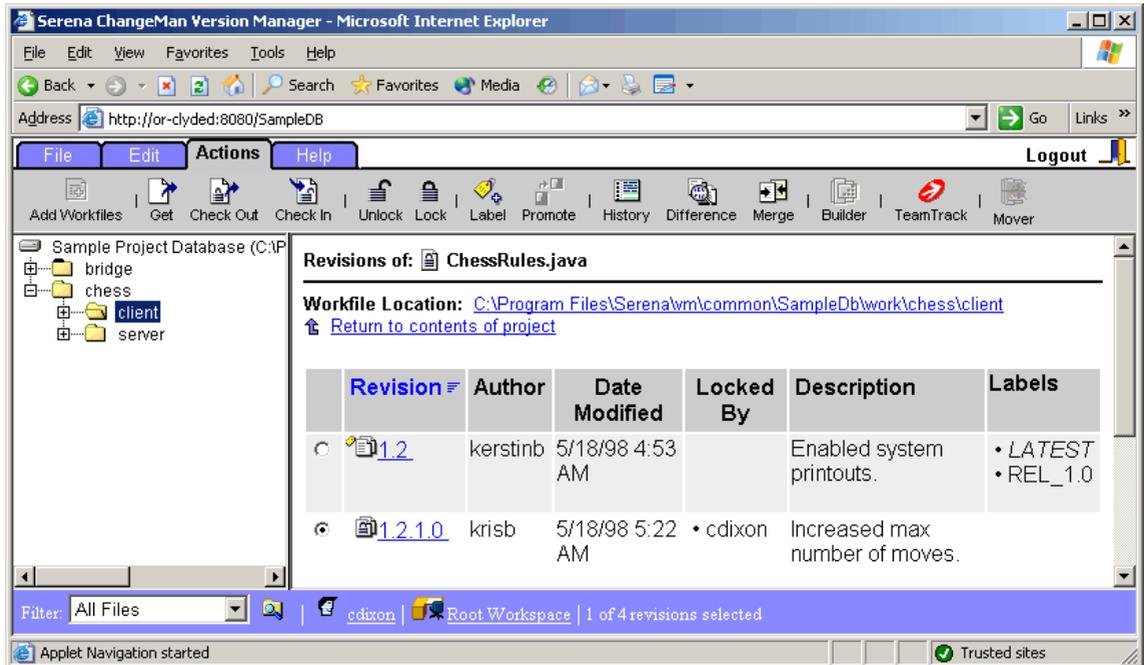
- アクションに関するリビジョンを選択するには、その隣のチェックボックスをクリックします。

- デフォルトエディタまたはブラウザでリビジョンを編集または表示するには、リビジョン番号をクリックします。



注：デフォルトエディタ設定についての詳細は、59 ページの『デフォルトエディタの設定』を参照してください。

- リビジョンをソートするには、ソートの基準となる列の見出しをクリックします。ソート順を逆にするには、列の見出しを再度クリックします。



リビジョン表示部には、以下のフィールドとアイコンが含まれます。

フィールドまたはアイコン	説明
Revisions of (リビジョン)	リビジョンを含むバージョン管理ファイルの名前を表示します。
Workfile Location (作業ファイルの場所)	バージョン管理ファイルの作業ファイルの場所を表示します。 (Workfile Location (作業ファイルの場所) リンクをクリックすると、 【Set Workfile Location (作業ファイルの場所の設定)】ダイアログ ボックスが表示されます。
Page (ページ)	ページに収まりきれないアイテムがある場合にのみ表示されます。前の ページ、次のページ、または特定のページに移動するには、【Previous (前のページ)】、【Next (次のページ)】、または【number (ページ番 号)】をクリックします。
Return to the contents of the project (プロジェクトの内容に戻る)	内容表示部に戻ります。
Revision (リビジョン)	リビジョンの番号。デフォルトのリビジョンが選択されます。デフォルト エディタでリビジョンを編集または表示する場合にクリックします。
Author (作成者)	リビジョンの元の作成者。

フィールドまたはアイコン	説明
Date Modified (変更日)	ファイルが最後にチェックインされたときのタイムスタンプ。
Locked by (ロック)	リビジョンのロックを現在保持しているユーザの ID。
Description (説明)	チェックイン時にリビジョンに追加された説明。
Labels (ラベル)	リビジョンにラベルが割り当てられている場合、ラベル名が表示されます。
Promotion Groups (プロモーショングループ)	リビジョンにプロモーショングループが割り当てられている場合、プロモーショングループが表示されます。
	リビジョン。
	ロックされたリビジョン。
	プロモーショングループが割り当てられたリビジョン。
	プロモーショングループが割り当てられ、ロックされたリビジョン。
	バージョンラベルが割り当てられたリビジョン。
	バージョンラベルが割り当てられ、ロックされたリビジョン。
	プロモーショングループとバージョンラベルが割り当てられたリビジョン。
	プロモーショングループとバージョンラベルが割り当てられたロック済みリビジョン。

メニュー表示部での操作

メニュー表示部には、Version Manager Web クライアントのコマンドを実行するためのボタンが備わっています。ファイル、編集、アクション、ヘルプの各メニュー上のコマンドにアクセスするには、対応するタブをクリックします。各メニューのコマンドを実行するには、対応するボタンをクリックします。

以下のメニューボタンを使用できます。

[File (ファイル)] メニューボタン	説明
	新しいプロジェクトまたはバージョン 5.3/6.0 のフォルダを作成します。
	選択したプロジェクトデータベース、プロジェクト、またはバージョン管理ファイルの作業ファイルの場所を設定または変更します。
	バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトフォルダを更新して、別のユーザによって追加された新しいアーカイブを表示します。
	既存のプロジェクトまたはバージョン 5.3/6.0 のフォルダの名前を変更します。
	既存のプロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、またはバージョン管理ファイルを削除します。
	プロジェクトデータベース、プロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、またはバージョン管理ファイルのプロパティを表示します。
	ワークスペースの設定、作成、名前変更、削除を行います。
	選択したプロジェクトデータベースまたはプロジェクト用の別のユーザ ID に切り替えます。
	選択したプロジェクトデータベースまたはプロジェクトにログインするためのパスワードを変更します。

[Edit (編集)] メニューボタン	説明
	1 つまたは複数のバージョン管理ファイルを別のプロジェクトまたはバージョン 5.3/6.0 のフォルダにコピーします。 注： アーカイブの場所は変更されません。
	1 つまたは複数のバージョン管理ファイルを別のプロジェクトまたはバージョン 5.3/6.0 のフォルダに移動します。 注： アーカイブの場所は変更されません。
	Version Manager Web クライアントの表示と操作のオプションを設定します。

[Action (アクション)] メニューボタン	説明
	プロジェクトデータベース、プロジェクトまたはバージョン 5.3/6.0 フォルダに作業ファイルを追加します。
	リビジョンを取得し、作業ファイルの場所にコピーを作成します。
	編集可能なリビジョンを作業ファイルの場所にチェックアウトします。
	変更した作業ファイルをアーカイブにチェックインします。
	チェックインを実行せずにリビジョンをロック解除します。
	チェックアウトを実行せずにリビジョンをロックします。
	リビジョンのバージョンラベルの割り当て、名前変更、または削除を行います。
	リビジョンのプロモーショングループの割り当て、プロモート、変更、または削除を行います。
	プロジェクトデータベース、プロジェクト、バージョン管理ファイル、またはバージョン 5.3/6.0 フォルダに関する履歴レポートを作成します。
	Merge ツールを起動して、リビジョンまたは作業ファイルの相違点を比較します。
	Merge ツールを起動して、リビジョンまたは作業ファイルをマージします。
	Serena Builder Web クライアントを起動して、ビルドプロセスを制御および実行します。
	(表示されない場合あり) 別の Web ブラウザを起動して、現在のプロジェクトデータベースに関連付けられた TeamTrack URL を表示します。この URL は、管理者によって Version Manager Application サーバで定義されます。



(表示されない場合あり) 別の Web ブラウザを起動して、現在のプロジェクトデータベースに関連付けられた Tracker URL を表示します。この URL は、管理者によって Version Manager Application サーバで定義されます。



(表示されない場合あり) TrackerLink を起動し、チェックアウト、チェックイン、ロック、および作業ファイル追加時に、Tracker で作業ファイルを Issue と関連付けることができますようにします。

[Deployment (配布)] メニューボタン

説明



Version Manager から別のアプリケーションにファイルを配布するには、Serena Mover が必要です。



Mover が必要です。ファイル配布の設定に使用します。



Mover が必要です。ファイル配布のスケジュールに使用します。

[Help (ヘルプ)] メニューボタン

説明



Version Manager Web クライアントのヘルプシステムを起動します。



ヘルプシステムで [What's New (新機能)] ページを起動します。[What's New (新機能)] ページは、このバージョンの Version Manager での新機能について教えてくれます。



Serena のサポートページを開きます。



Version Manager Web クライアントの著作権とバージョン情報を記載したダイアログボックスが表示されます。



プロジェクトデータベースからログアウトさせます。

ステータス表示部での操作

ステータス表示部では、現在のフィルタ、ユーザ ID、およびワークスペースを表示したり変更したりすることができます。ステータス表示部には、現在選択されているアイテムの数も表示されます。次のように操作してください。

- 内容表示部のバージョン管理ファイルの表示を変更するには、〈Filter (フィルタ)〉リストをクリックします。
- ユーザを切り替えるには、ユーザ ID をクリックします。
- 別のワークスペースを設定するには、ワークスペース名をクリックします。

ステータス表示部は、以下のフィールドとアイコンで構成されます。

アイコン	説明
Filter (フィルタ)	すべてのファイルを表示、あるいはビューをフィルタするには、ファイル名、ワイルドカード、バージョンラベル、またはプロモーショングループを使用します。最後に使用されたフィルタが 4 つまで保持されます。
	再帰的と非再帰的との間でフィルタモードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">  再帰：内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムに含まれる、すべてのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルが表示されます。  非再帰：内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムのルートに含まれるバージョン管理ファイルだけが表示されます。
	現在のユーザ ID がここに表示されます。このプロジェクトデータベースで別のユーザ ID に切り替えるには、名前をクリックします。
 Public (パブリック)	現在のワークスペースがここに表示されます。このプロジェクトデータベースに別のワークスペースを設定するには、ワークスペース名をクリックします。 ワークスペースのアイコンは、ワークスペースがパブリックかプライベートのどちらであるかを示します。
 Private (プライベート)	
[#] of [total] [items] selected (選 択されている すべてのアイ テムの数)	現在選択されているプロジェクト、フォルダ、バージョン管理ファイル、またはリビジョンの数を表示します。バージョン管理ファイルやリビジョンに関しては、プロジェクト内のバージョン管理ファイルの総数やバージョン管理ファイルのリビジョンの数も表示します (例、50 ファイルのうち 4 ファイルを選択)。

アイテムの選択

アイテムに関する情報の表示、あるいはチェックイン、取得、チェックアウト、ロック、ロック解除、またはバージョンラベルの割り当てなどのアクションを実行するには、Version Manager Web クライアントでアイテムを選択します。アイテムを選択した後は、メニューボタンをクリックしてアクションを実行します。

選択するアイテム	操作
プロジェクトデータベース	プロジェクト表示部でプロジェクトデータベースをクリックします。
プロジェクトまたはフォルダ	プロジェクト表示部でプロジェクトまたはフォルダをクリックします。

選択するアイテム	操作
複数のプロジェクト	プロジェクト表示部で、SHIFT または CTRL キーを押しながらプロジェクトをクリックします。複数のプロジェクトが同じ親プロジェクトに属する場合のみ、そのプロジェクトを選択することができます。
1 つまたは複数のバージョン管理ファイル	内容表示部で、バージョン管理ファイルの隣にあるチェックボックスを選択します。プロジェクト内のすべてのバージョン管理ファイルを選択するには、〈Select: All (選択: すべて)〉リンクをクリックします。バージョン管理ファイルが複数ページ上に存在する場合には、〈Select: All on this page (選択: このページすべて)〉をクリックして、現在のページ上のバージョン管理ファイルのみを選択します。 〈Select: All (選択: すべて)〉をクリックした後で別のページに進む場合には、その選択がキャンセルされます。
1 つのリビジョン	リビジョン表示部のリビジョンの隣にあるボタンをクリックします。

アイテムの移動

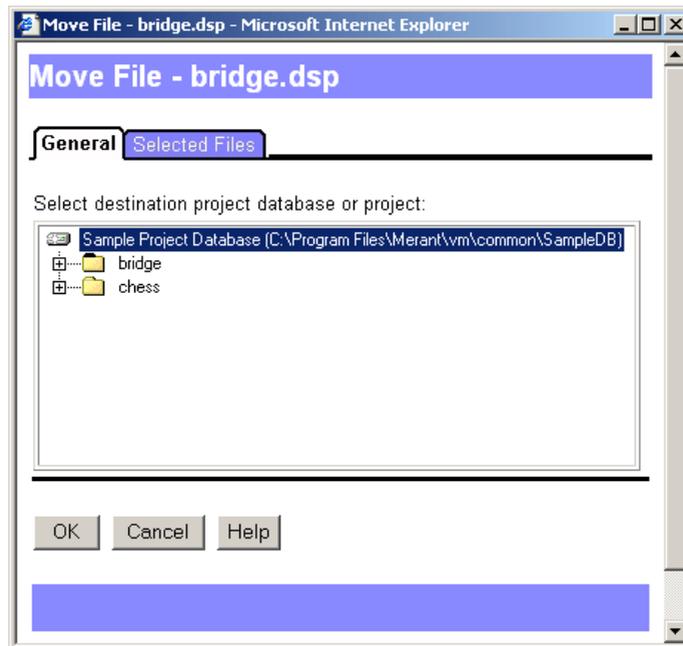
バージョン管理ファイルは、プロジェクトデータベース内でプロジェクトまたはフォルダ間で移動することができます。バージョン管理ファイルを移動しても、参照先のアーカイブは移動しません。バージョン管理ファイルは、移動後も元の場所にあるアーカイブを参照します。

プロジェクトとフォルダなど、バージョン管理ファイル以外のアイテムを移動するには、Version Manager デスクトップクライアントを使用します。

バージョン管理ファイルを移動するには

- 1 つまたは複数のバージョン管理ファイルを選択します。

- 2 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Move (移動)】 ボタンをクリックします。 [Move File (ファイルの移動)] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 プロジェクトナビゲーションツリーで移動先のプロジェクトまたはフォルダを選択します。プロジェクトデータベースまたはルートの直下にファイルを移動するには、プロジェクトデータベースまたはルートを選択します。
- 4 【OK】 をクリックします。バージョン管理ファイルが指定の場所に移動します。

アイテム名の変更

プロジェクト表示部で、プロジェクトまたはバージョン 5.3/6.0 のフォルダの名前を変更できます。Version Manager のデスクトップクライアントと Web クライアントの両方に新しいプロジェクト名が表示されますが、実際のアーカイブディレクトリ名は変わりません。

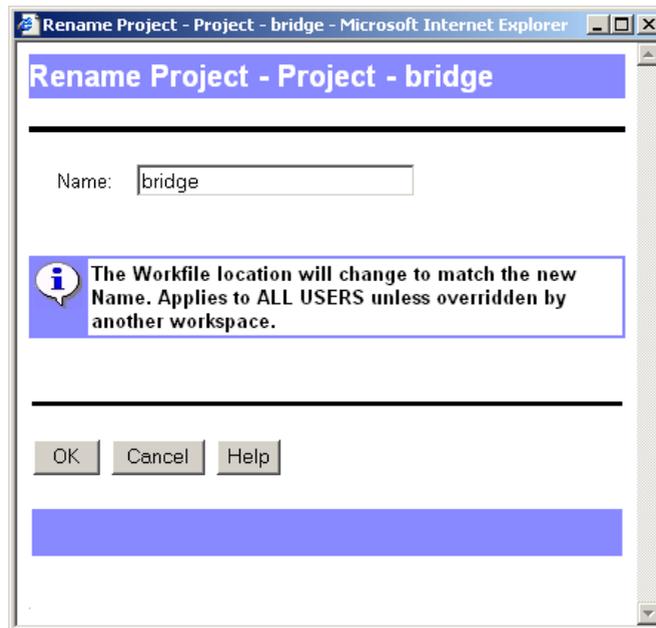
注：バージョンファイルまたはバージョン 5.3/6.0 のプロジェクトの名前を変更することはできません。

元の作業ファイルの場所が以前のプロジェクト名と一致していた場合は、新しい作業ファイルの場所が新しいプロジェクト名と一致するように設定されます。新しい作業ファイルの場所から、ファイルがチェックアウト、コピー、およびチェックインされます。プロジェクトまたはフォルダの名前を変更する前にチェックアウトされたファイルは、元の作業ファイルの場所に残ります。

プロジェクトまたはフォルダの名前を変更するには

- 1 名前を変更するプロジェクトまたはフォルダを選択します。
- 2 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Rename (名前の変更)】 ボタンをクリックします。

〔Rename Project/Folder (名前の変更)〕ダイアログボックス (プロジェクト / フォルダ) が表示されます。



- 3 〈Name (名前)〉フィールドに新しい名前を入力します。
- 4 【OK】をクリックします。

アイテムの削除

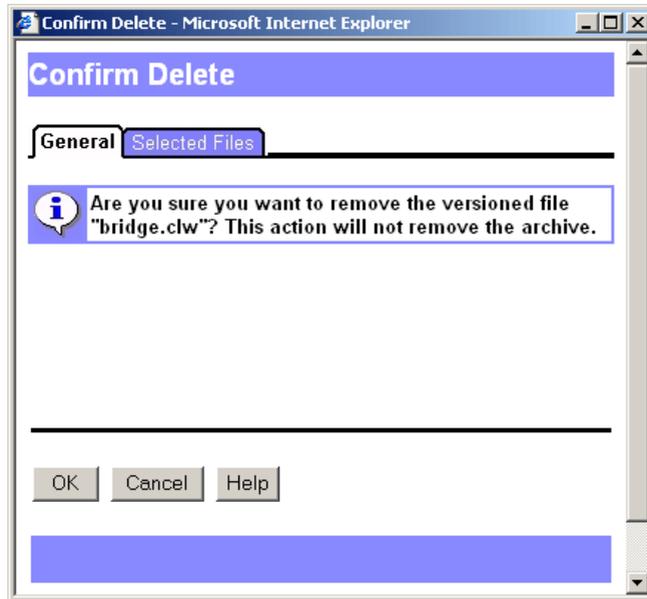
セキュリティ権限の設定によっては、プロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、およびバージョン管理ファイルを削除することができます。バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトを削除することはできません。削除されたアイテムはすべて Version Manager デスクトップと Web クライアントの両方から除去されます。ただし、削除されたアイテムのアーカイブは、アーカイブディレクトリから除去されません。プロジェクトのコンフィグレーションファイルとアクセスコントロールデータベースも保持されます。

削除したプロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、またはバージョン管理ファイルを復元するには、Version Manager を使用して、プロジェクトデータベースまたはプロジェクトにアーカイブをインポートします。

プロジェクト、フォルダ、またはバージョン管理ファイルを削除するには

- 1 削除するアイテムを選択します。1 つまたは複数のプロジェクト、フォルダ、またはバージョン管理ファイルを選択することができます。
- 2 【File (ファイル)】メニューのタブで、【Delete (削除)】ボタンをクリックします。

〔Confirm Delete (削除の確認)〕 ダイアログボックスが表示されます。



- 3 【OK】をクリックしてアイテムを削除します。

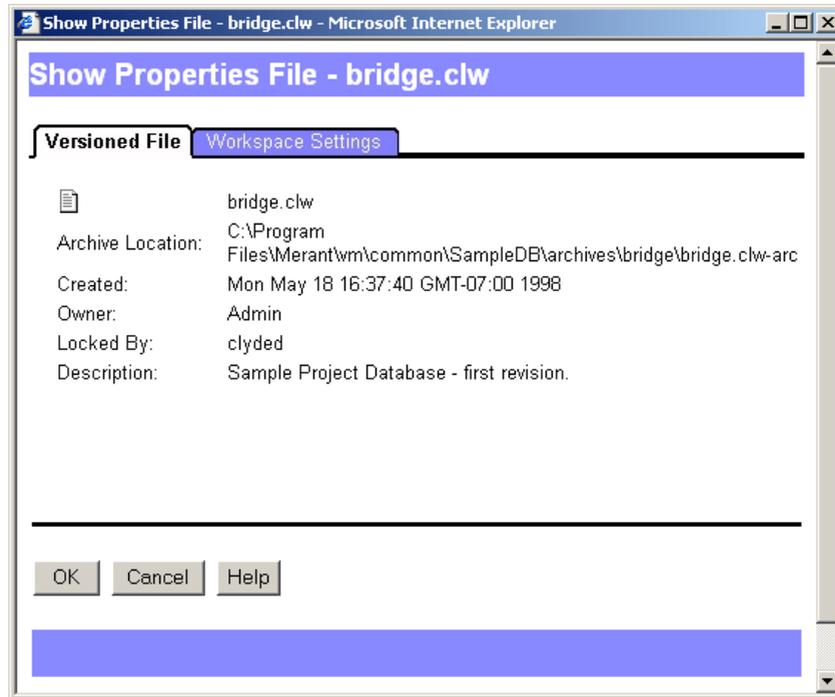
アイテムのプロパティの参照

プロパティは、プロジェクトデータベース、バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトルート、プロジェクト、バージョン 5.3/6.0 のフォルダ、およびバージョン管理ファイルについて参照することができます。プロパティは、選択したアイテムによって異なります。

選択するアイテム	実行可能な操作
プロジェクトデータベースまたはプロジェクト	その内容、コンフィグレーションファイル、およびアーカイブの場所を表示できます。また、作業ファイルの場所、デフォルトバージョン、デフォルトプロモーショングループ、ブランチバージョン、およびベースバージョンを表示または変更することもできます。
バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトルートまたはプロジェクト	その内容およびコンフィグレーションファイルを表示できます。また、デフォルトバージョン、デフォルトプロモーショングループ、ブランチバージョン、およびベースバージョンを表示または変更することもできます。
バージョン 5.3/6.0 のフォルダ	その内容を表示できます。また、作業ファイルの場所を表示または変更することもできます。
バージョン管理ファイル	アーカイブ情報を表示できます。また、作業ファイルの場所を表示または変更することもできます。

アイテムのプロパティを表示するには

- 1 プロジェクトデータベース、プロジェクト、フォルダ、またはバージョン管理ファイルを選択します。
- 2 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Properties (プロパティ)】 ボタンをクリックします。
[Show Properties (プロパティの表示)] ダイアログボックスが表示されます。



注： [Show Properties (プロパティの表示)] ダイアログボックスの内容は、選択したアイテムのタイプによって異なります。

- 3 必要に応じて、デフォルト設定を表示または変更します。作業設定には、作業ファイルの場所、デフォルトバージョン、ベースバージョンおよびブランチバージョンが含まれます。第4章、55ページの『環境のカスタマイズ』を参照してください。
- 4 【OK】 をクリックします。

表示のフィルタ

デフォルトでは、プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはフォルダを選択すると、Version Manager Web クライアントによって、選択したアイテムに関連する全バージョン管理ファイルが内容表示部に表示されます。ファイルフィルタは、内容表示部をカスタマイズして、フィルタ基準に見合うバージョン管理ファイルのみを表示します。以下の条件を満たすバージョン管理ファイルのみを表示するよう、表示にフィルタを実行できます。

- 特定ユーザまたは任意のユーザにロックされているバージョン管理ファイル
- ワイルドカードファイル名パターンに一致しているバージョン管理ファイル
- 指定したプロモーショングループと一致するバージョン管理ファイル

- 指定したバージョンラベルと一致するバージョン管理ファイル
- 次の各アイテムのリビジョン番号、更新時間、リビジョンの内容が異なる、あるいは一致するバージョン管理ファイル。
 - 2つのバージョンラベル
 - 2つのプロモーショングループ
 - 1つのバージョンラベルと1つのプロモーショングループ

フィルタを実行したプロジェクトにアクションを実行する

プロジェクト表示部で選択したプロジェクトに対してアクション（チェックアウトなど）を実行する場合、現在のフィルタによって非表示になっているファイルも含め、そのプロジェクト内の全ファイルにアクションが実行されます。（注：選択したプロジェクトに含まれるサブプロジェクトのファイルは無視されます。）アクションの対象を現在のフィルタによって表示されるバージョン管理ファイルだけに限定するには、内容表示部でバージョン管理ファイルを選択して、アクションを選択します。



注：フィルタされた表示は、別のフィルタを選択するまでは有効となります。混乱を避けるには、別の作業に移る前に〈All Files（すべてのファイル）〉表示に戻してフィルタされた表示をクリアします。

ファイルの再帰的な表示

デフォルトで、内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテム（プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはサブプロジェクト）のルートにあるバージョン管理ファイルだけが表示されます。再帰的な表示を選択しないかぎり、ネストされたプロジェクトとサブプロジェクト内に含まれるプロジェクト、サブプロジェクト、およびファイルは表示されません。

再帰的と非再帰的との間で表示を切り替えるには

- 1 プロジェクト表示部で、プロジェクトデータベースまたは表示するプロジェクトを選択します。
- 2 【Recursive（再帰的）】 / 【Non-recursive（非再帰的）】 ボタンをクリックします。ボタンの外観は、どちらのフィルタモードが有効になっているかを反映して変化します。
 -  再帰：内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムに含まれる、すべてのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルが表示されます。
 -  非再帰：内容表示部には、プロジェクト表示部で選択したアイテムのルートに含まれるバージョン管理ファイルだけが表示されます。

ロック設定者によるフィルタ

このフィルタを使用して特定のユーザまたは任意のユーザがロックしたバージョン管理ファイルを検索します。

ロックフィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の〈Filter (フィルタ)〉リストから〈Locked By (ロック)〉を選択します。〔Locked By Filter (ロック設定者フィルタ)〕ダイアログボックスが表示されます。



- 2 以下のいずれかを実行します。
 - 特定ユーザによってロックされたバージョン管理ファイルを表示するには、〈Users (ユーザ)〉オプションを選択し、1 つ以上のユーザ ID を入力します。複数のユーザ ID は区切り文字で区切ります。デフォルトの区切り文字は、セミコロン (;) です。区切り文字についての詳細は、57 ページの『フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定』を参照してください。
 - ロック設定者に関係なく、ロックされたすべてのバージョン管理ファイルを表示するには、〈Any user (すべてのユーザ)〉オプションを選択します。
- 3 【OK】をクリックします。

ワイルドカードを使用したファイル名によるフィルタ

このフィルタを使用して指定したワイルドカード名パターンに一致するバージョン管理ファイルを検索します。

ワイルドカードフィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の〈Filter (フィルタ)〉リストから〈Wild Card (ワイルドカード)〉を選択します。〔Wild Card Filename Filter (ワイルドカードファイル名フィルタ)〕ダイアログボックスが表示されます。

Wild Card Filename Filter

Filename pattern:

Ignore case

*	Matches zero or more characters
?	Matches one character
[a-z]	Matches a range of characters
[^a-d]	Matches inverse of pattern

OK

Cancel

Help

- 2 〈Filename pattern (ファイル名のパターン)〉フィールドにフィルタ条件を入力します。

使用するワイルドカード 一致する文字

*	ゼロ個以上の任意の文字。 たとえば、DLL という拡張子のついた全バージョン管理ファイルを検索するには、*.DLL と入力します。
?	任意の 1 文字。 たとえば、TEST01.DLL、TEST02.DLL、...、TESTXX.DLL のように、一定の法則を持つファイル名を持つバージョン管理ファイルを検索するには、TEST??.DLL と入力します。
[-]	一定範囲の文字。 たとえば、A、B、C、D の文字で始まるファイル名のバージョン管理ファイルすべてを検索するには、[A-D]* と入力します。
^	括弧で囲まれた以外の文字 (たとえば、[^A-D]* は、A、B、C、D 以外で始まるすべてのファイル名)。

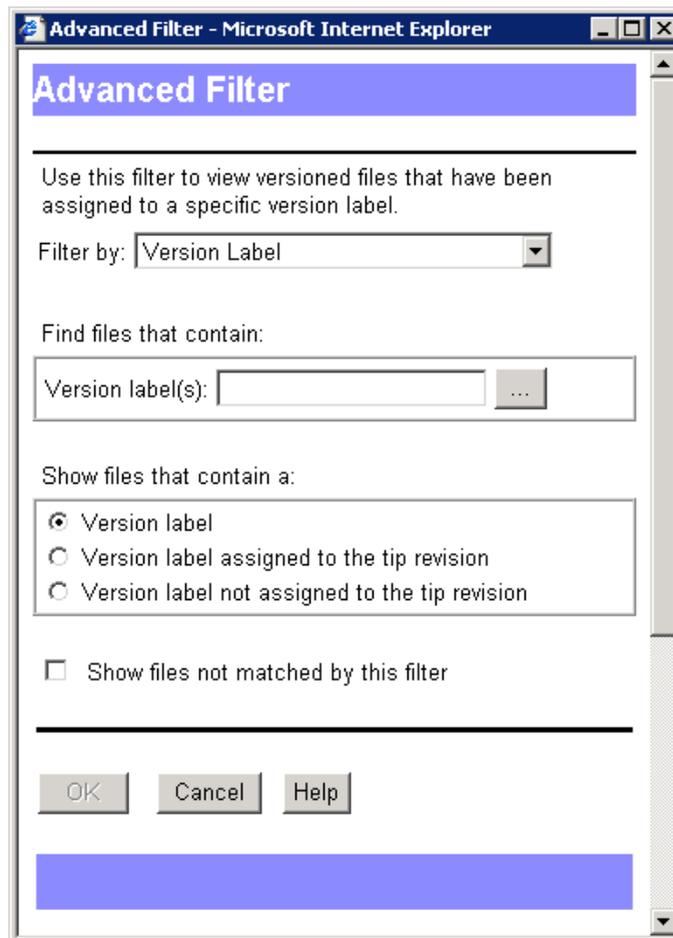
- 3 【OK】をクリックします。

バージョンラベルによるフィルタ

このフィルタを使用して指定したバージョンラベルが含まれているバージョン管理ファイルを検索します。

「バージョンラベル」フィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の〈Filter (フィルタ)〉リストから〈Advanced Filter (高度なフィルタ)〉を選択します。〔Advanced Filter (高度なフィルタ)〕ダイアログボックスが表示されます。



- 2 フィルタするバージョンラベルの名前を〈Version label(s) (バージョンラベル)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。複数のバージョンラベルは区切り文字で区切ります。デフォルトの区切り文字は、セミコロン (;) です。区切り文字設定についての詳細は、57 ページの『フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定』を参照してください。



注：バージョンラベルでは、大文字小文字が区別されます。大文字と小文字を正しく区別して使用してください。

- 3 指定したバージョンラベルを特定のリビジョンに含むバージョン管理ファイルを表示するには、対応するオプションを 1 つ選択します。
 - 任意のリビジョン - 〈Version label (バージョンラベル)〉
 - チップリビジョン - 〈Version label assigned to the tip revision (チップリビジョンに割り当てられているバージョンラベル)〉

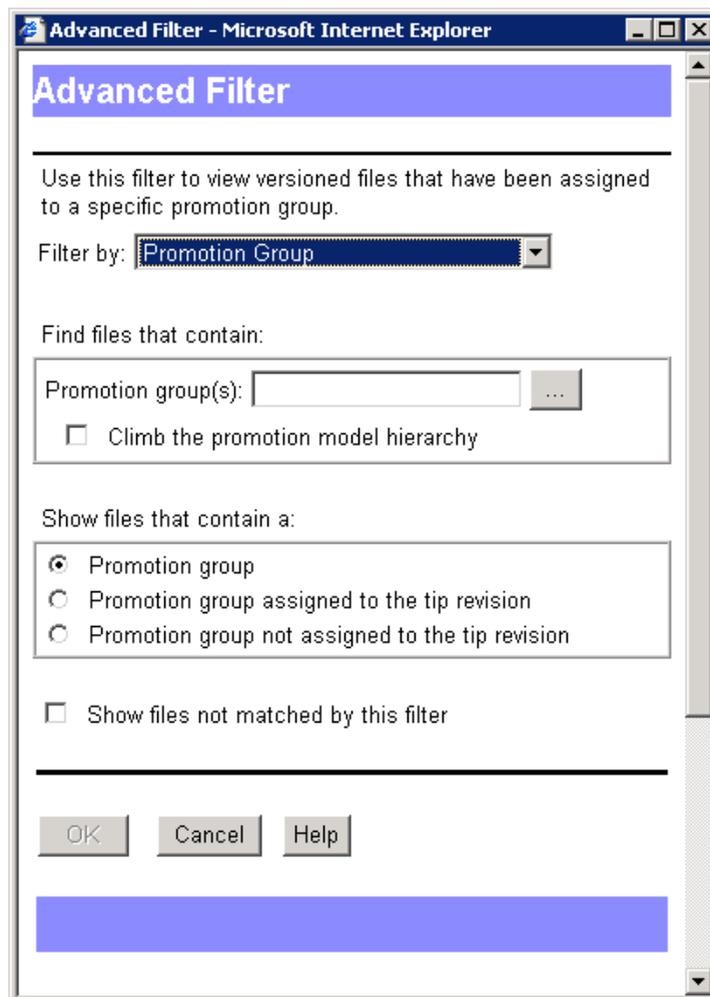
- チップリビジョン以外の任意のリビジョン - (Version label not assigned to tip revision (チップリビジョンに割り当てられていないバージョンラベル))
- 4 フィルタの論理を逆にするには、(Show files not matched by this filter (このフィルタに合致しないファイルを表示)) チェックボックスを選択します。
 - 5 【OK】をクリックします。

プロモーショングループによるフィルタ

このフィルタを使用して指定したプロモーショングループを含むファイルを検索します。

「プロモーショングループ」フィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の (Filter (フィルタ)) リストから (Advanced Filter (高度なフィルタ)) を選択します。[Advanced Filter (高度なフィルタ)] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 (Filter by (フィルタ)) リストから (Promotion Group (プロモーショングループ)) オプションを選択します。



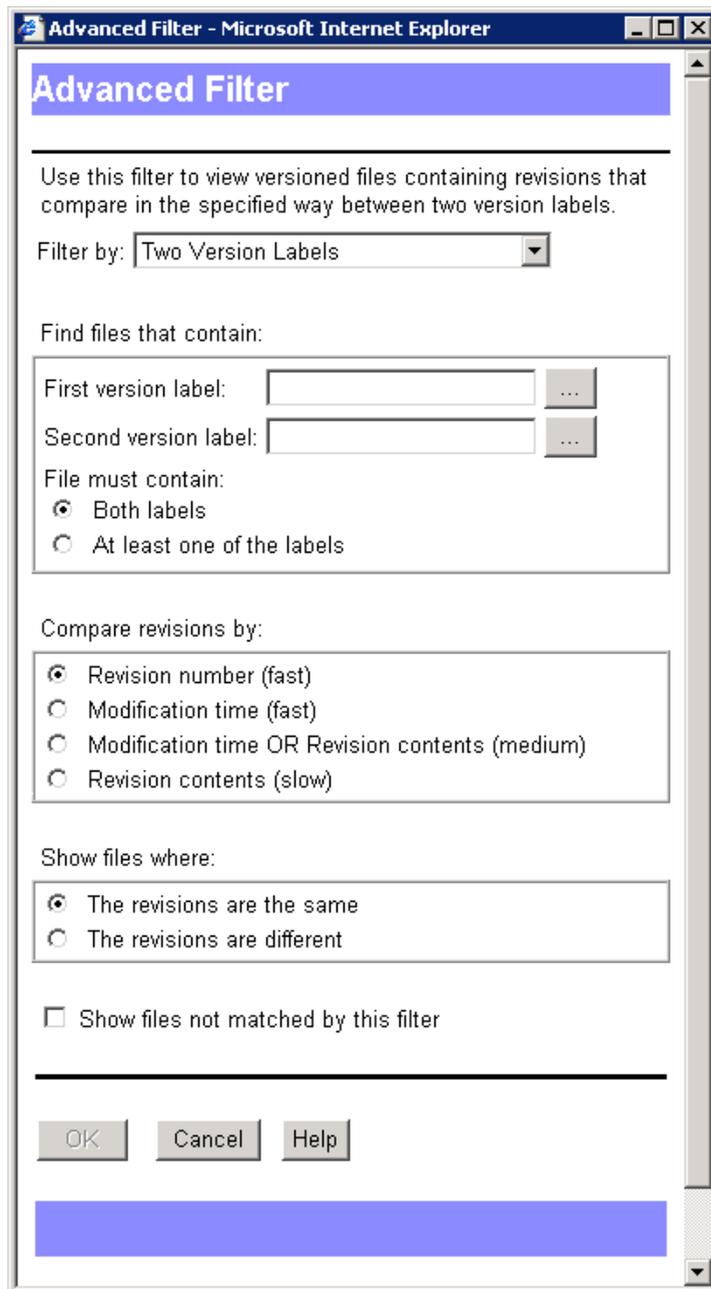
- 3 フィルタするプロモーショングループの名前を〈Promotion group(s) (プロモーショングループ)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。複数のプロモーショングループは区切り文字で区切ります。デフォルトの区切り文字は、セミコロン (;) です。区切り文字設定についての詳細は、57 ページの『フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定』を参照してください。
- 4 指定したプロモーショングループが見つからない場合、上位のプロモーショングループを検索することができます。この際、プロモーションモデルの階層は上方向に検索され、一致項目が見つかるか、プロモーションモデルの最高レベルに達するまで検索が続けられます。この機能を有効にするには、〈Climb the promotion model hierarchy (プロモーションモデルの階層を上げる)〉チェックボックスを選択します。
- 5 次のオプションの 1 つを選択して、次のリビジョンの中から指定したプロモーショングループが入っているバージョン管理ファイルを表示します。
 - 任意のリビジョン - 〈Promotion group (プロモーショングループ)〉
 - チップリビジョン - 〈Promotion group assigned to the tip revision (チップリビジョンに割り当てられているプロモーショングループ)〉
 - チップリビジョン以外の任意のリビジョン - 〈Promotion group not assigned to tip revision (チップリビジョンに割り当てられていないプロモーショングループ)〉
- 6 フィルタの論理を逆にするには、〈Show files not matched by this filter (このフィルタに合致しないファイルを表示)〉チェックボックスを選択します。
- 7 【OK】 をクリックします。

2つのバージョンラベル間の比較によるフィルタ

このフィルタを使用して、指定した2つのバージョンラベル間のリビジョンが異なるか、あるいは一致するバージョン管理ファイルを検索します。

2つのバージョンラベル間の比較フィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の〈Filter (フィルタ)〉リストから〈Advanced Filter (高度なフィルタ)〉を選択します。〔Advanced Filter (高度なフィルタ)〕ダイアログボックスが表示されます。
- 2 〈Filter by (フィルタ)〉リストから〈Two Version Labels (2つのバージョンラベル)〉オプションを選択します。



- 3 フィルタするバージョンラベル名を〈First version label (1 番目のバージョンラベル)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。



注：バージョンラベルでは、大文字小文字が区別されます。大文字と小文字を正しく区別して使用してください。

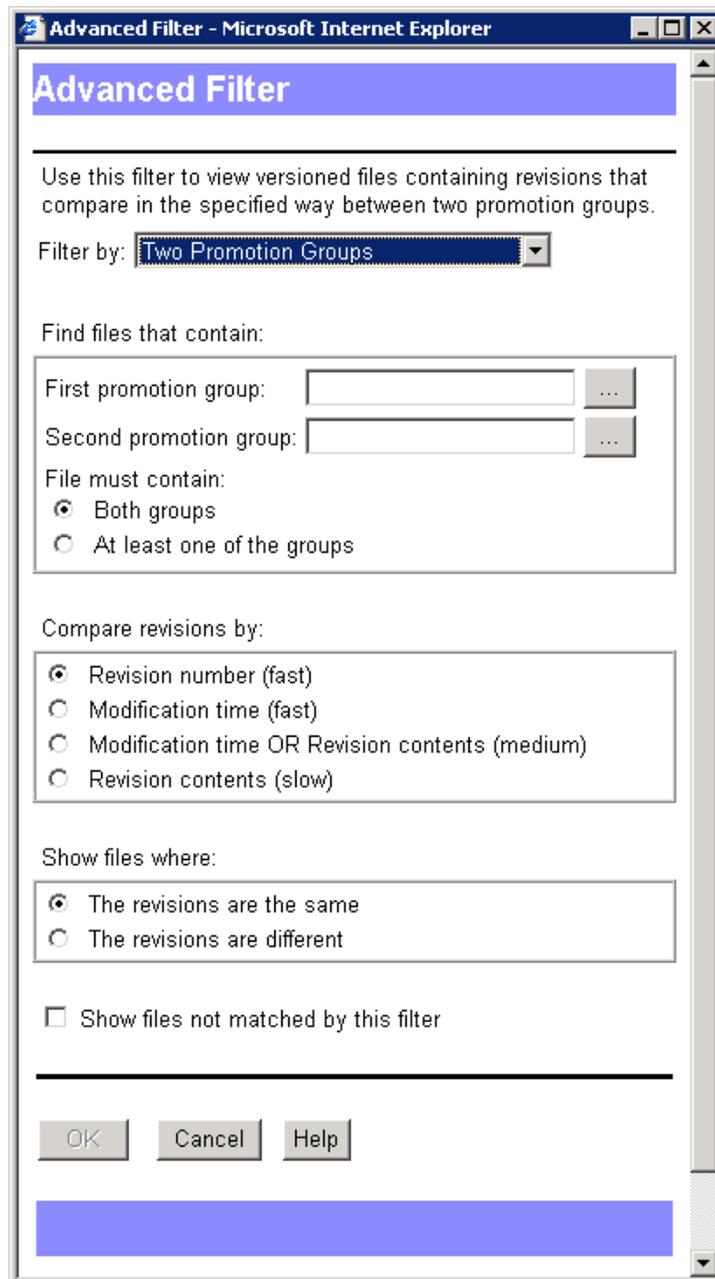
- 4 フィルタするバージョンラベル名を〈Second version label (2 番目のバージョンラベル)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。
- 5 ファイルが含まれるかどうかを次のように指定します。
 - 両方のラベル
 - 少なくとも 1 つのラベル
- 6 リビジョンの比較処理を、次のオプションの中から選択します。
 - Revision number (リビジョン番号)。
 - Modification time (変更時刻)。
 - Modification time OR Revision contents (更新時間またはリビジョンの内容)：最初に、リビジョンの更新時間が比較されます。更新時間が同じ場合は、次にリビジョンの内容が比較されます。多数のリビジョンに同じ更新時間が設定されている場合は、処理に時間がかかります。
 - Revision contents (リビジョンの内容)：リビジョンの内容が比較されます。このオプションは最も時間がかかります。
- 7 ファイルを表示する条件を、次の中から選択します。
 - The revisions are the same (リビジョンが一致)
 - The revisions are different (リビジョンが異なる)
- 8 フィルタの論理を逆にするには、〈Show files not matched by this filter (このフィルタに合致しないファイルを表示)〉チェックボックスを選択します。
- 9 【OK】をクリックします。

2つのプロモーショングループの比較によるフィルタ

このフィルタを使用して、指定した2つのプロモーショングループ間のリビジョンが異なるか、あるいは一致するバージョン管理ファイルを検索します。

2つのプロモーショングループ間の比較フィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の〈Filter (フィルタ)〉リストから〈Advanced Filter (高度なフィルタ)〉を選択します。〔Advanced Filter (高度なフィルタ)〕ダイアログボックスが表示されます。
- 2 〈Filter by (フィルタ)〉リストから〈Two Promotion Groups (2つのプロモーショングループ)〉オプションを選択します。



- 3 フィルタ処理するプロモーショングループ名を〈First promotion group (1番目のプロモーショングループ)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

- 4 フィルタするプロモーショングループ名を〈Second promotion group (2 番目のプロモーショングループ)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。
- 5 ファイルが含まれるかどうかを次のように指定します。
 - Both groups (両方のグループ)
 - At least one of the groups (少なくとも 1 つのグループ)
- 6 リビジョンの比較処理を、次のオプションの中から選択します。
 - Revision number (リビジョン番号)。
 - Modification time (変更時刻)。
 - Modification time OR Revision contents (更新時間またはリビジョンの内容)：最初に、リビジョンの更新時間が比較されます。更新時間が同じ場合は、次にリビジョンの内容が比較されます。多数のリビジョンに同じ更新時間が設定されている場合は、処理に時間がかかります。
 - Revision contents (リビジョンの内容)：リビジョンの内容が比較されます。このオプションは最も時間がかかります。
- 7 ファイルを表示する条件を、次の中から選択します。
 - The revisions are the same (リビジョンが一致)
 - The revisions are different (リビジョンが異なる)
- 8 フィルタの論理を逆にするには、〈Show files not matched by this filter (このフィルタに合致しないファイルを表示)〉チェックボックスを選択します。
- 9 【OK】をクリックします。

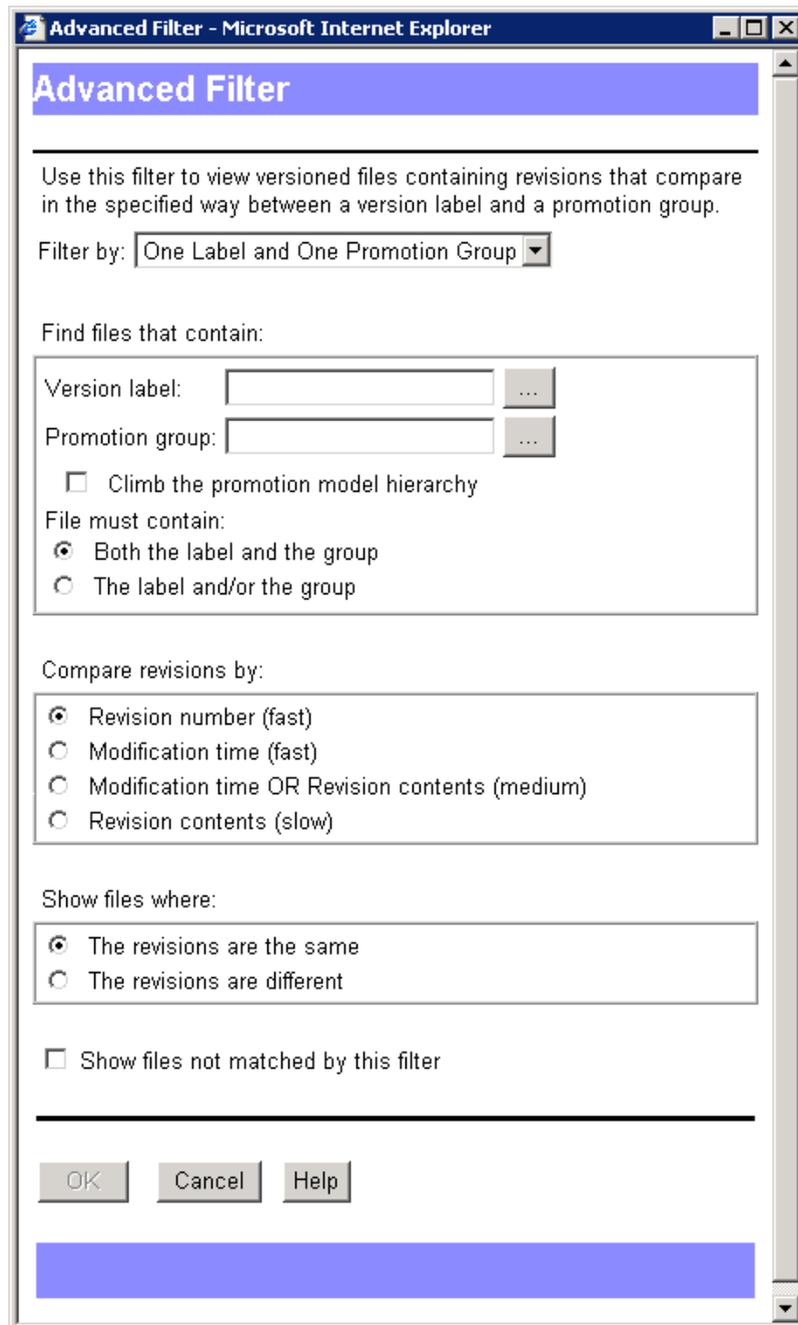
バージョンの比較によるフィルタラベルとプロモーショングループ

このフィルタを使用して、指定したバージョンラベルと指定したプロモーショングループのリビジョンが異なるか、あるいは一致するバージョン管理ファイルを検索します。

バージョンラベルとプロモーショングループの相違点を使用したフィルタを設定するには

- 1 ステータス表示部の〈Filter (フィルタ)〉リストから〈Advanced Filter (高度なフィルタ)〉を選択します。〔Advanced Filter (高度なフィルタ)〕ダイアログボックスが表示されます。

- 2 〈Filter by (フィルタ)〉リストから〈One Label and One Promotion Group (1つのラベルと1つのプロモーショングループ)〉オプションを選択します。



- 3 フィルタ処理するバージョンラベル名を〈Version label (バージョンラベル)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。



注：バージョンラベルでは、大文字小文字が区別されます。大文字と小文字を正しく区別して使用してください。

- 4 フィルタ処理するプロモーショングループ名を〈Promotion group (プロモーショングループ)〉フィールドに入力するか、参照して選択します。

- 5 ファイルが含まれるかどうかを次のように指定します。
 - Both the label and the group (ラベルとグループの両方)
 - The label and/or the group (ラベルまたはグループ)
- 6 指定したプロモーショングループが見つからない場合、上位のプロモーショングループを検索することができます。この際、プロモーションモデルの階層は上方向に検索され、一致項目が見つかるか、プロモーションモデルの最高レベルに達するまで検索が続けられます。この機能を有効にするには、〈Climb the promotion model hierarchy (プロモーションモデルの階層を上げる)〉チェックボックスを選択します。
- 7 リビジョンの比較処理を、次のオプションの中から選択します。
 - Revision number (リビジョン番号)。
 - Modification time (変更時刻)。
 - Modification time OR Revision contents (更新時間またはリビジョンの内容)：最初に、リビジョンの更新時間が比較されます。更新時間が同じ場合は、次にリビジョンの内容が比較されます。多数のリビジョンに同じ更新時間が設定されている場合は、処理に時間がかかります。
 - Revision contents (リビジョンの内容)：リビジョンの内容が比較されます。このオプションは最も時間がかかります。
- 8 ファイルを表示する条件を、次の中から選択します。
 - The revisions are the same (リビジョンが一致)
 - The revisions are different (リビジョンが異なる)
- 9 フィルタの論理を逆にするには、〈Show files not matched by this filter (このフィルタに合致しないファイルを表示)〉チェックボックスを選択します。
- 10 【OK】をクリックします。

全バージョン管理ファイルの表示 (フィルタなし)

フィルタ表示をクリアして、全バージョン管理ファイルを表示するには、ステータス表示部で〈Filter (フィルタ)〉リストから〈All Files (すべてのファイル)〉を選択します。

第 4 章

環境のカスタマイズ

Version Manager Web クライアントオプションの設定	56
ワークスペースのプロパティ	60

Version Manager Web クライアントオプションの設定

Serena PVCS Version Manager Web クライアントで表示される 1 ページあたりのアイテム数、取得、チェックイン、チェックアウトの処理方法、サブプロジェクトを含めるかどうか、結果ダイアログボックスの処理方法などが設定できます。カスタマイズした内容は、ユーザ ID ごとに保存され、Version Manager Web クライアントを次回起動したときも有効になるようになっています。



注：Version Manager Web クライアントで設定するオプションは、Version Manager デスクトップクライアントですでに設定されているオプションには影響を与えません。

デフォルトの Version Manager Web クライアントオプション

デフォルトの設定を変えない限り、Version Manager Web クライアントは次のように動作します。

- 各ページに最高 50 項目を表示する。
- チェックインの後に作業ファイルの場所に読み取り専用の作業ファイルを残す。
- 取得の際、読み取り専用リビジョンをコピーする。
- チェックアウトの際に、作業ファイルがすでに存在する場合は確認メッセージを表示する。
- プロジェクトの操作にサブプロジェクトを含めない。
- 操作が正常終了した後で、結果のダイアログボックスを自動的に画面から消去しない。
- ダイアログボックスのフィールドで複数のエントリを区切るにはセミコロン (;) を使用する。
- 既存の作業ファイルよりも新しいかどうかにかかわらず、リビジョンを取得またはチェックアウトする。

これらのデフォルト設定は [Options (オプション)] ダイアログボックス ([Edit (編集)] タブ - [Options (オプション)] - [General (全般)] タブ) で変更できます。

Options

General Advanced

Number of items per page:

Delete workfile after check in

Get read-only revision

Delimiter:

If workfile exists:

Include subprojects in project operations

Automatically dismiss results dialogs when action is successful

Get only if revision newer than workfile

OK Cancel Help

1 ページあたりのアイテム数の設定

Version Manage Web クライアントで、1 ページに同時に表示されるファイルの最大数を設定できます。ファイル数がこの上限を上回ると、ファイルを表示するために複数のページが使用されます。これらのページにアクセスするには、ページ番号をクリックするか、【Previous (前のページ)】または【Next (次のページ)】をクリックします。

1 ページあたりのアイテム数を設定するには

- 1 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Options (オプション)】 ボタンをクリックします。
[Options (オプション)] ダイアログボックスが開き、[General (全般)] タブが表示されます。
- 2 〈Number of items per page (1 ページあたりの表示数)〉 フィールドに、表示するファイル数の上限値を入力します。デフォルト値は 50 です。
- 3 【OK】 をクリックします。

フィールドに入力するアイテムの区切り文字の指定

デフォルトでは、セミコロン (;) を使用してダイアログボックスのフィールド内の複数エントリを区切ります。区切り文字は複数エントリを受け入れるすべてのフィールドで使用します。

名前の中で区切り文字を使用しているアイテムを処理する場合は、区切り文字を変更する必要があります。区切り文字には、コンマ (,)、コロン (:)、またはセミコロン (;) を設定できます。

区切り文字を指定するには

- 1 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Options (オプション)】 ボタンをクリックします。
[Options (オプション)] ダイアログボックスが開き、[General (全般)] タブが表示されます。
- 2 <Delimiter (区切り文字)> リストから、次のいずれかを選択します。
 - Comma (コンマ (,))
 - Colon (コロンの (:))
 - Semicolon (セミコロン (;)) (デフォルト)



重要: ダイアログボックスのフィールドに入力するアイテムに含まれていない区切り文字を選択してください。

- 3 【OK】 をクリックします。

チェックイン/チェックアウトオプションの定義

チェックイン、チェックアウト、または取得のアクションを実行するときに、これらのデフォルトオプションと異なる設定を常に使用する必要がある場合は、作業内容に合わせて各オプションを変更することができます。

チェックイン、チェックアウト、または取得オプションを変更するには

- 1 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Options (オプション)】 ボタンをクリックします。
[Options (オプション)] ダイアログボックスが開き、[General (全般)] タブが表示されます。
- 2 必要に応じて、以下のようにデフォルトを変更します。
 - チェックインの正常終了後に作業ファイルの場所から作業ファイルを削除するには、<Delete workfile after check in (チェックイン後に作業ファイルを削除)> チェックボックスを選択します。
 - 取得の実行時に作業ファイルを書き込み可能にするには、<Get read-only revision (リビジョンを読み取り専用で取得)> チェックボックスの選択を解除します。
 - 作業ファイルがすでに存在する場合に <Prompt (確認する)> 以外のオプションを選択するには、<Overwrite (上書きする)> または <Do not overwrite (上書きしない)> を選択します。
 - リビジョンが作業ファイルよりも新しい場合にのみ取得またはチェックアウトするには、<Get only if revision is newer than workfile (作業ファイルより新しいリビジョンの場合のみ実行)> チェックボックスを選択します。
- 3 【OK】 をクリックします。

サブプロジェクトへのアクションの実行

プロジェクトまたはプロジェクトデータベースに対するアクションを実行する場合、アクションの操作対象はプロジェクトデータベースまたはプロジェクトのレベルに直接含まれるバージョン管理ファイルのみになります。サブプロジェクト内のバージョン管理ファイルは、デフォルトでは操作対象から除外されます。

プロジェクトデータベースとプロジェクトでアクションを実行するときに、通常、サブプロジェクトを含める場合は、デフォルトを変更してサブプロジェクトを含めるようにすることができます。

サブプロジェクトを含めるには

- 1 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Options (オプション)】 ボタンをクリックします。
【Options (オプション)】 ダイアログボックスが開き、【General (全般)】 タブが表示されます。
- 2 〈Include subproject in project operations (処理対象にサブプロジェクトも含める)〉 チェックボックスを選択します。
- 3 【OK】 をクリックします。

アクションが正常終了した後で結果のダイアログボックスを自動的に画面から消去する

デフォルトでは、アクションが完了すると結果のダイアログボックスが表示され、そのアクションが正常終了したか、エラーまたは警告が発生したかが示されます。この結果ダイアログボックスを画面から消去するには、【Close (閉じる)】 ボタンをクリックする必要があります。デフォルトの動作を変更すると、アクションが正常終了した後で、結果ダイアログボックスを自動的に閉じることができます。

結果のダイアログボックスを自動的に画面から消去するには

- 1 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Options (オプション)】 ボタンをクリックします。
【Options (オプション)】 ダイアログボックスが開き、【General (全般)】 タブが表示されます。
- 2 〈Automatically dismiss results dialogs when action is successful (正常終了の場合は、結果を自動的に画面から消去)〉 チェックボックスを選択します。
- 3 【OK】 をクリックします。

エラーが発生した場合は、結果のダイアログボックスが自動的に閉じられることはありません。

デフォルトエディタの設定

デフォルトエディタを設定すると、内容表示部でバージョン管理ファイルの隣にあるアイコンをクリックしたり、リビジョン表示部にあるリビジョンをクリックしたときにどのエディタを起動するかを指定できます。

Windows の場合

Windows では、Windows のファイルタイプ関連付けによって定義されたエディタまたは選択した特定のエディタでファイルが開きます。デフォルトでは、Windows のファイルタイプ関連付けが使用されます。デフォルトを使用することをお勧めします。



注：ファイルをダブルクリックすると正しくないアプリケーションが起動する場合、Windows エクスプローラを使用して Windows ファイルタイプを修正します。

UNIX の場合

UNIX では、Version Manager 内からファイルを編集または表示するには、エディタの場所を指定する必要があります。UNIX 版には、〈Use Default Windows Associations (Windows のデフォルトの関連付けを使用)〉 チェックボックスはありません。

デフォルトエディタを設定するには

- 1 [Edit (編集)] メニューのタブで、【Options (オプション)】 ボタンをクリックします。
[Options (オプション)] ダイアログボックスが開き、[General (全般)] タブが表示されます。
- 2 [Applications (アプリケーション)] タブを選択します。
- 3 (Windows 版のみ) Windows のファイルタイプ関連付けを使用してエディタを起動するには、
(Use default Windows associations (Windows のデフォルトの関連付けを使用)) チェックボックスを選択します。
- 4 (Editor Location (テキストエディタの場所)) テキストボックスにエディタプログラムの実行ファイルのある場所を入力するか、または、【Browse (...)】 をクリックして実行ファイルを選択します。
 - (UNIX 版のみ) 独自のウィンドウを起動する非 GUI エディタ (vi など) を指定した場合、そのエディタは、xterm またはその他のウィンドウタイプで起動する必要があります。たとえば、(Editor Location (テキストエディタの場所)) テキストボックスに次のように入力します。
`xterm editor path`
ここで editor path には、エディタの場所を入力します。
 - (Windows 版のみ) エディタを指定して、さらに、(Use default Windows associations (Windows のデフォルトの関連付けを使用)) チェックボックスを選択した場合は、指定したエディタは、Windows で関連付けられたアプリケーションを見つけることができない場合にのみ使用されます。
- 5 【OK】 をクリックします。

ワークスペースのプロパティ

ワークスペースは、プロジェクトデータベースに関して定義された作業設定の集合です。環境に合った作業設定に簡単に切り替えることができるよう、ワークスペースは複数定義することができます。各ユーザは、1 度に 1 つのワークスペースを持ちます。作業設定には次のようなものがあります。

- プロジェクトデータベースとその内容に関して定義された作業ファイルの場所。
- リビジョン番号やバージョンラベルを指定しない場合に使用されるデフォルトのバージョン。
- 自動ブランチが有効になっている場合に使用されるベースバージョンとブランチバージョン。
- プロモーションモデルが有効になっている場合に使用されるデフォルトのプロモーショングループ。

パブリックワークスペースとプライベートワークスペースの比較

ワークスペースには、パブリックとプライベートの 2 種類があります。通常、パブリックワークスペースは、プロジェクトデータベースの作成時に管理者によって作成されます。パブリックワークスペースに加えた変更は、そのワークスペースを使用するすべてのユーザに影響を与えます。通常、プライベートワークスペースは、各ユーザの作業環境に合わせて作業設定をカスタマイズするために、ユーザによって作成されます。プライベートワークスペースに加えた変更は、そのワークスペースを作成したユーザにしか影響しません。

ルートワークスペース

ルートワークスペースは、デフォルトのパブリックワークスペースです。ルートワークスペースは、管理者がプロジェクトデータベースを作成するたびに自動的に作成されます。ルートワークスペースは削除したり名前を変更したりすることはできません。ルートワークスペースの設定は、管理者から適切な権限を割り当てられている場合にのみ変更できます。

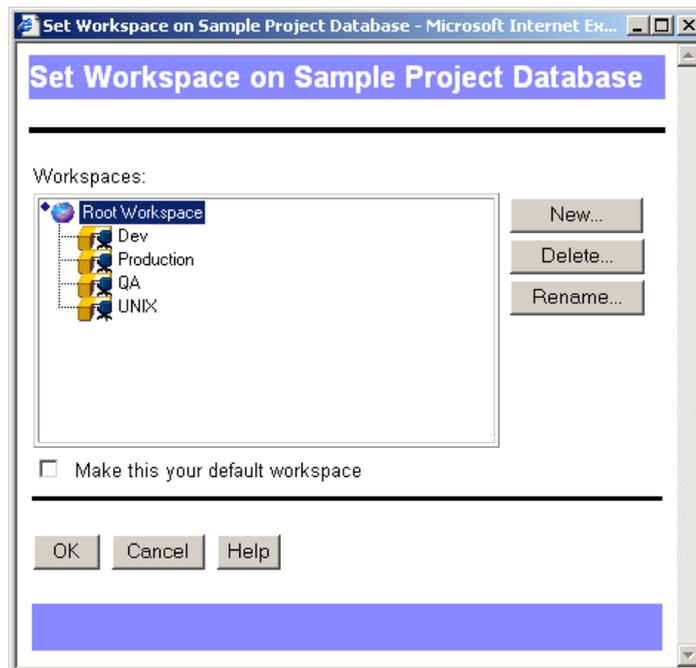
ほかのワークスペースを作成または設定しない場合、ルートワークスペースがデフォルトのワークスペースとして設定されます。

ワークスペースの設定

Version Manager Web クライアントの使用を開始するときに、使用するワークスペースを指定します。Version Manager Web クライアントまたはデスクトップクライアントの新しいセッションを開始したときに、そのワークスペースをデフォルトとして使用するかどうかも指定できます。

ワークスペースを設定するには

- 1 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Set Workspace (ワークスペースの設定)】 ボタンをクリックします。[Set Workspace (ワークスペースの設定)] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 〈Workspaces (ワークスペース)〉 リストで、プロジェクトデータベースとともに使用するワークスペースを選択します。
- 3 後続の Version Manager デスクトップクライアントセッションおよび Web クライアントセッションのプロジェクトデータベースにこのワークスペースを関連付けるには、〈Make this your default workspace (デフォルトワークスペースに設定)〉 チェックボックスを選択します。選択しない場合、このワークスペースは、現在の Web クライアントセッションでのみアクティブとなります。
- 4 【OK】 をクリックします。

作業ファイルの場所の設定

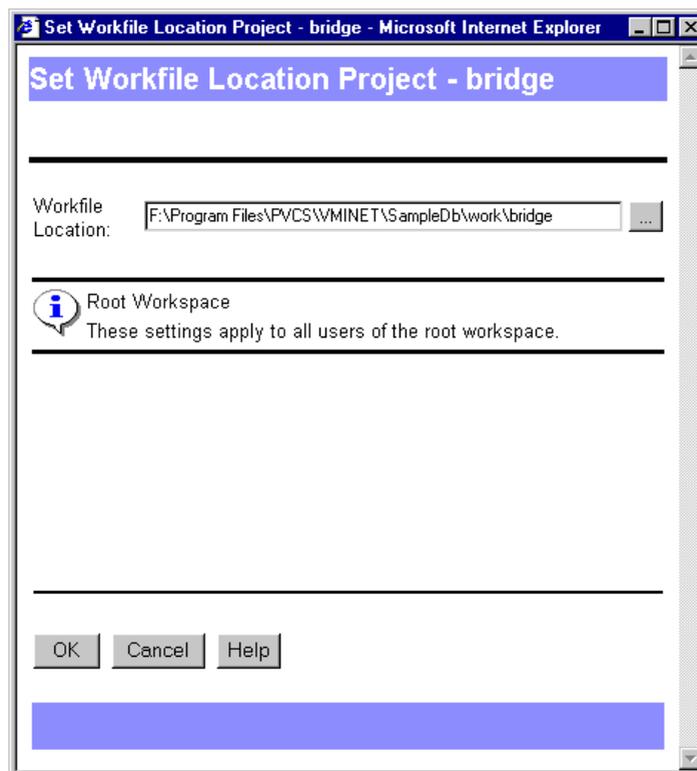
作業ファイルの場所とは、作業ファイルをチェックインおよびチェックアウトする場所のことです。作業ファイルの場所は、プロジェクトが初めて作成されたときに設定され、プロジェクトデータベースに割り当てられたワークスペースに保存されます。

プロジェクトデータベースに含まれる任意のプロジェクトまたはバージョンファイルに対する作業ファイルの場所を変更できます。パブリックワークスペースで作業ファイルの場所を変更すると、そのパブリックワークスペースを使用してプロジェクトにアクセスする、すべてのユーザの作業ファイルの場所が変更されます。ワークスペースがプライベートである場合、作業ファイルの場所を変更しても、ほかのユーザには影響しません。

作業ファイルの場所を設定するには

- 1 プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはバージョン管理ファイルを選択します。
- 2 [File (ファイル)] メニュータブで【Set Workfile Location (作業ファイルの場所の設定)】ボタンをクリックするか、または内容表示部で〈Workfile Location (作業ファイルの場所)〉リンクをクリックします。

[Set Workfile Location (作業ファイルの場所の設定)] ダイアログボックスが表示されます。



- 3 〈Workfile Location (作業ファイルの場所)〉フィールドで、新しい作業ファイルの場所を入力するか、参照して選択します。
- 4 【OK】をクリックします。

デフォルトリビジョンの定義

デフォルトでは、取得、チェックアウト、およびロックの操作には、バージョン管理ファイルの最新リビジョン（チップ）が使用されます。しかし、デフォルトリビジョンとして特定のバージョンラベルを定義することもできます。

デフォルトリビジョンを定義するには

- 1 編集するワークスペースを設定します。
- 2 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Properties (プロパティ)】 ボタンをクリックします。
[Properties (プロパティ)] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 <Default Version (デフォルトバージョン)> フィールドにバージョンラベルを入力し、【OK】 をクリックします。

自動ブランチの有効化

自動ブランチを使用すると、トランクリビジョンからブランチを自動的に作成することができます。これにより、デフォルトで、アクションを実行するたびにそのブランチのチップリビジョンが使用されるようになります。

自動ブランチを設定するには、ブランチの作成元とするリビジョンに 2 つの固定バージョンラベルを割り当てます。一方のバージョンラベルはブランチの起点を示し、もう一方のバージョンラベルはブランチのチップを示します。次に、アクティブなワークスペースでこれらのバージョンラベルを指定します。

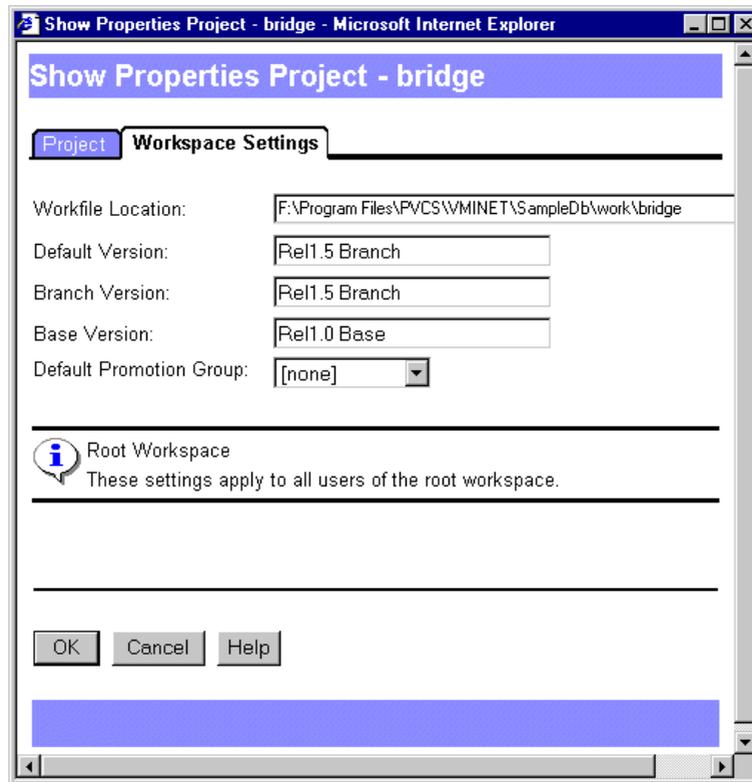


注：自動ブランチを設定する前に、必要なセキュリティ権限があるかどうかを管理者に確認してください。また、プロジェクトチームのほかのメンバーとバージョンラベルを統一してください。

自動ブランチを有効にするには

- 1 自動ブランチを有効にするバージョン管理ファイルを選択します。
- 2 [Actions (アクション)] メニューのタブで、【Label (ラベル)】 ボタンをクリックします。
[Version Label (バージョンラベル)] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 固定バージョンラベルをリビジョンに割り当てます。
 - a 【Assign (割り当て)】 をクリックします。
 - b <Assign Version Label (バージョンラベルの割り当て)> フィールドに、バージョンラベルの名前を入力します (例: Rel1.0 Base)。
 - c <To revision (割り当てするリビジョン)> フィールドに、リビジョン番号を入力します。
 - d 【OK】 をクリックします。このバージョンラベルがベースバージョンになります。
- 4 手順 2 と 3 を繰り返して、別の固定バージョンラベルをリビジョンに割り当てます (例: Rel1.5 Branch)。
このバージョンラベルがブランチバージョンになります。
- 5 バージョン管理ファイルを含むプロジェクトまたはプロジェクトデータベースを選択します。
- 6 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Properties (プロパティ)】 ボタンをクリックします。
[Properties (プロパティ)] ダイアログボックスが表示されます。

- 7 (Workspace Settings (ワークスペースの設定)) タブで以下を実行します。
 - a (Default Version (デフォルトバージョン)) フィールドに、ブランチバージョンのバージョンラベルを入力します。これは、手順 4 で割り当てたラベルです (例: Rel1.5 Branch)。
 - b (Branch Version (ブランチバージョン)) フィールドに、ブランチバージョンのバージョンラベルを入力します。これは、手順 4 で割り当てたラベルです (例: Rel1.5 Branch)。
 - c (Base Version (ベースバージョン)) フィールドに、ベースバージョンのバージョンラベルを入力します。これは、手順 3 で割り当てたラベルです (例: Rel1.0 Base)。



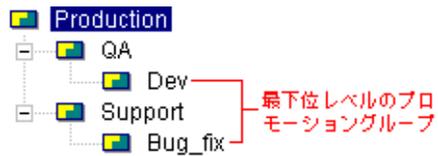
- 8 【OK】をクリックします。

リビジョンをチェックアウトして、再びチェックインすると、ブランチが作成されます。ブランチバージョンラベルは、ブランチのチップとともに浮動します。

デフォルトのプロモーショングループの定義

開発のために確保されている、最下位レベルのプロモーショングループのリビジョンのみがチェックアウトできます。リビジョンがどのプロモーションレベルに到達しているかにかかわらず、リビジョンのチェックアウトとロックを行う際は、最下位レベルのプロモーショングループにリビジョンを割り当てて、開発を継続する必要があります。

開発用のプロモーショングループが複数ある場合は、チェックアウトまたはロックするリビジョンにどのプロモーショングループを割り当てるかを選択する必要があります。次の例では、Dev と Bug_fix から選択することになります。



毎回同じプロモーショングループにチェックアウトまたはロックしている場合は、その最下位レベルのプロモーショングループをデフォルトで使用するよう指定することができます。最下位レベルのプロモーショングループのデフォルトは、ワークスペースに対して指定します。

デフォルトのプロモーショングループを定義するには

- 1 編集するワークスペースを設定します。61 ページの『ワークスペースの設定』を参照してください。
- 2 [File (ファイル)] メニューのタブで、【Properties (プロパティ)】 ボタンをクリックします。[Properties (プロパティ)] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 <Default Promotion Group (デフォルトプロモーショングループ)> リストから、最下位レベルのプロモーショングループを選択します。
- 4 【OK】 をクリックします。

第 5 章

ファイルの比較

ファイルの比較について	68
相違点の表示	68
相違点の解釈	70

ファイルの比較について

- 並べて比較する Serena PVCS Version Manager では、2つのテキストファイルを横に並べて、ファイルに行われた追加、削除および変更を比較できます。バイナリファイルは比較できません。
- リビジョンや作業ファイルと比較する <Show Differences (相違点の表示)> オプション ([Actions (アクション)] - [Differences (相違点の表示)]) を選択すると、以下のアイテムを比較できます。
- リビジョンと作業ファイル
 - 同じバージョン管理ファイルのリビジョン
 - 2つのバージョン管理ファイルのリビジョン
 - 2つの作業ファイル
- 表示のみ <Show Differences (相違点の表示)> オプションを使用すると、2つのファイルを簡単に比較できます。ただし、比較ファイルの印刷や保存を行うことはできません。

相違点の表示

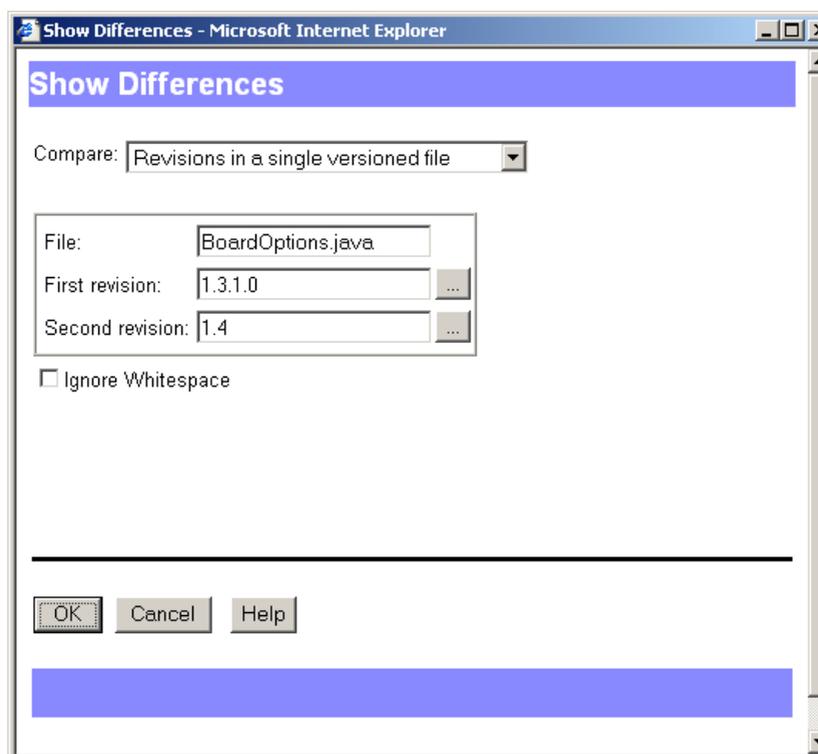
ファイル間の相違点を表示するには

- 1 比較するバージョン管理ファイルまたはリビジョンを選択します。任意のテキストファイルを選択できます。



注: 別々のプロジェクト (ただし、同じプロジェクトデータベース内) にあるリビジョンを比較するには、プロジェクトデータベースを選択します。異なるプロジェクトデータベースにあるリビジョンは比較できません。

- 2 [Actions (アクション)] タブ - [Difference (相違点の表示)] を選択します。[Show Differences (相違点の表示)] ダイアログボックスが表示されます。



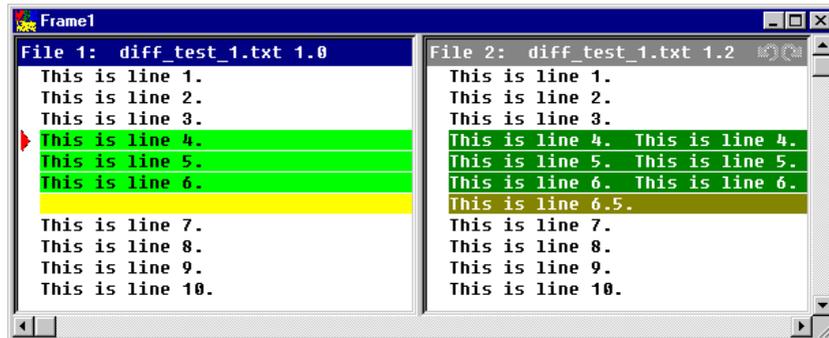
注：[Show Differences (相違点の表示)] ダイアログボックスの内容は、選択した比較の種類によって異なります。

- 3 <Compare (比較)> ドロップダウンリストで、実行する比較の種類を選択します。

比較する内容	指定する項目
リビジョンと作業ファイル	バージョン管理ファイルとリビジョン番号、および作業ファイル
同じバージョン管理ファイルのリビジョン	バージョン管理ファイルとリビジョン番号、および 2 番目のリビジョン番号
異なるバージョン管理ファイルのリビジョン	2 つのバージョン管理ファイルと 2 つのリビジョン番号
作業ファイル	2 つの作業ファイル

- 4 <First File (ファイル 1)> グループのリビジョン (作業ファイルを比較する場合はファイル) を変更する場合は、このフィールドを編集するか【Browse (...)] をクリックします。
- 5 <Second File (ファイル 2)> グループのリビジョン (作業ファイルを比較する場合はファイル) を変更する場合は、このフィールドを編集するか【Browse (...)] をクリックします。
- 6 空白やタブ、改ページを無視する場合は、<Ignore white space (空白を無視する)> チェックボックスを選択します。

- 7 【OK】 をクリックします。Merant Merge Tool が起動され、2 つのファイルが別々の表示部に横に並んで表示されます。



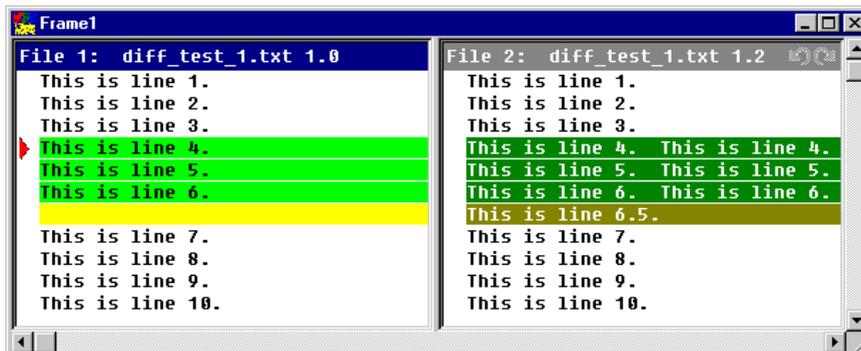
- 8 相違点を表示するには、ファイルをスクロールし、色が付いたテキストブロックを比較します。Windows ユーザは、【Next Difference (次の相違行)】 ボタン () をクリックして、次の相違点に直接移動することもできます。

相違点の解釈

相違点の種類 ファイル 1 はベースファイルとして使用されます。ファイル 2 をファイル 1 と比較します。ファイル間の相違点は、追加行、削除行および変更行に分類されます。

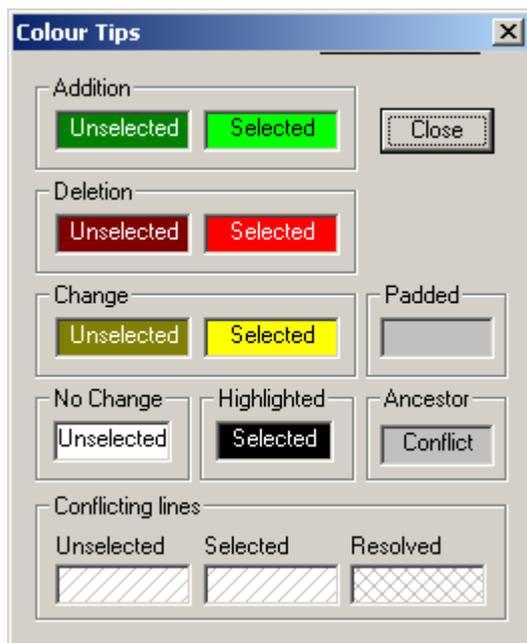
- 追加行はファイル 2 で追加されたテキスト行です。これらのテキスト行は、ファイル 1 には存在しません。
- 削除行はファイル 2 で削除されたテキスト行です。これらのテキスト行は、ファイル 1 には存在します。
- 変更行はどちらかのファイルで編集されているテキスト行です。

プレースホルダ プレースホルダは、ファイル間の相違点のタイプの識別に使用される色のブロックです。相違点の各タイプ (追加、削除、および変更) には、選択と非選択をそれぞれ示す 2 つのプレースホルダ (色) が割り当てられています。



Windows 版ユーザ Windows 版では、プレースホルダの色を変更できます。色を変更するには、Merant Merge Tool の【Configuration (詳細設定)】アイコン () をクリックして、表示されるダイアログボックスの [Colors (表示色)] タブをクリックします。

Windows 版では、色の説明を表示して、それぞれの色が何を表しているのかを見ることができます。色の説明を表示するには、Merant Merge Tool から【Color Tips (色の確認)】() をクリックします。[Color Tips (色の確認)] ダイアログボックスが表示されます。

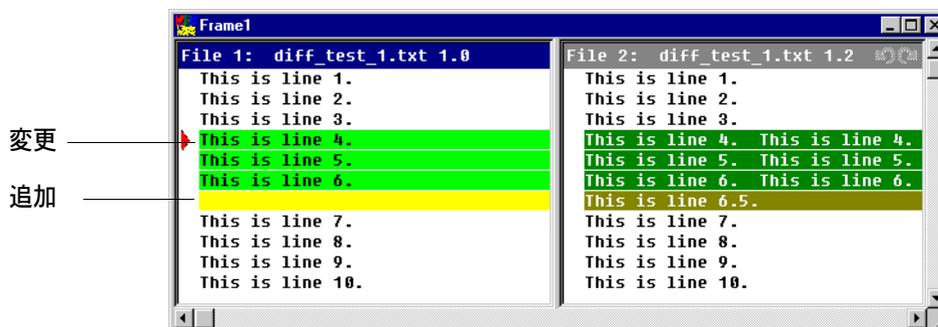


相違点の例

以下の例では、ファイル 1 (ベースファイル) として選択するファイルによって 2 つのファイル間の相違点がどのように異なるかを示しています。

- 例 1 この例では、同じバージョン管理ファイルの 2 つのリビジョンを示しています。バージョン 1.0 がファイル 1 (ベースファイル) として、バージョン 1.2 がファイル 2 として選択されています。

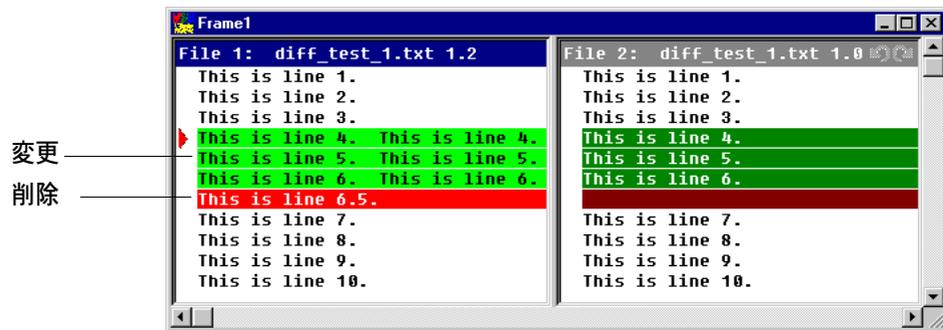
ファイル 1(バージョン 1.0) ファイル 2(バージョン 1.2)



行 4、5、および 6 が変更されており、相違点の 1 ブロックとして強調表示されています。これらの相違点は、変更プレースホルダによって識別されます。行 6.5 は、ファイル 2 に追加されており、相違点の別のブロックとして強調表示されています。これらの相違点は、追加プレースホルダによって識別されます。

例2 上記と同じファイルを使用して、ファイルの順序を逆にすると、以下の結果が得られます。

ファイル 1(バージョン 1.2) ファイル 2(バージョン 1.0)



行 4、5、および 6 は引き続き相違点として強調表示され、変更プレースホルダによって識別されます。ただし、追加された行 6.5 は、ファイル 2 ではなくファイル 1 (ベースファイル) にあります。この相違点は、削除プレースホルダによって識別されます。

第 6 章

ファイルのマージ

マージについて	74
Windows または UNIX でのファイルのマージ	75
Windows 版での相違点の解釈	79
UNIX 版での相違点の解釈	81
Windows 版でのファイル間の競合の解決	82
UNIX 版でのファイル間の競合の解決	83

マージについて

- マージとは マージとは、共通のベースファイルを持つ 2 つ（または、それ以上）のテキストファイル、またはテキストファイルのリビジョン間の相違点を比較し、それらを受け入れたり、取り除いたりしながら、変更を新規のテキストファイルに統合していくプロセスです。
- バイナリファイルは比較したり、マージしたりはできません。
- ファイルをマージする理由 マージは並行開発の際に便利です。マージによって、開発の別ラインで行われている作業を結合し、メインラインに統合できます。
- マージの種類 Serena PVCS Version Manager では、以下のように、さまざまなマージを実行できます。以下をマージできます。
- リビジョンと作業ファイル
 - 同じバージョン管理ファイル内のリビジョン
 - 異なるバージョン管理ファイルのリビジョン
 - 作業ファイル
- Windows 版ユーザ Windows 版の Version Manager は、N 通り（無制限）のマージを実行できます。Version Manager から選択できるファイルは 3 つ（1 つのベースファイルと 2 つのブランチファイル）のみですが、Serena Merge Tool を起動すると、N 通りのマージを実行できます。N 通りのマージを実行する方法については、Serena Merge Tool のオンラインヘルプを参照してください。
- UNIX ユーザ UNIX 版 Version Manager では、2 方向のマージ（ベースファイルとブランチファイルを 1 つずつ）を実行できます。多方向のマージはサポートされていません。

マージの用語と定義

次のリストは、マージに関する用語とその定義です。

用語	定義
ベースまたは元ファイル	ほかのファイルが派生したベースファイル。
ブランチまたは比較ファイル	ベースファイルを変更して得られた結果。
出力またはターゲット	最終マージファイル。
追加行	ブランチファイルに追加されたテキスト行。このテキスト行はベースファイルにはありません。
削除行	ブランチファイルから削除されたテキスト行。このテキスト行はベースファイルにあります。
変更行	ブランチファイルのひとつで修正されたテキスト行。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとは異なります。
競合行 (Windows 版のみ)	複数のブランチファイルで修正されたテキスト行。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとは異なります。



注：UNIX 版では、「変更行」は「競合」とみなされるので、ユーザが解決する必要があります。

マージプロセス

マージは、以下のプロセスからなります。

- 出力（ターゲット）ファイルをチェックインする先のブランチまたはトランクのチップをロックする。
- 参照ポイントとしてベースファイル（元ファイル）を選択する。
- リビジョンブランチファイル（比較ファイル）を選択する。
- 出力（ターゲット）ファイル名を入力する。
- 変更を採用または不採用にして、ベースファイルとブランチファイルの競合を解決する。
- 出力（ターゲット）ファイルに変更を保存する。
- 出力ファイルをチェックインする。

ベースファイルの選択

ベースファイルは、基準点として使用するファイルです。これは通常、ブランチが開始されるリビジョン、つまり、ブランチポイントです（通常は、開発のメイントランクから分岐）。

別々のブランチまたはバージョン管理ファイルにあるリビジョンをマージする場合は、選択するベースファイルが、マージする「すべての」リビジョンに共通の元ファイルの中で最新のリビジョンまたはファイルである必要があります。



重要：UNIX 版のみ

UNIX 上で、ブランチのリビジョンとトランクのリビジョンをマージ、もしくは比較する際には、ベースファイルを最新のトランクのリビジョンに設定し、その後に最新のブランチのリビジョンをブランチファイルとして選択する必要があります。

ベースファイルの内容がマージするファイルの内容に近いほど、解決しなければならない競合も減るためです。以下の例では、リビジョン 1.2.1.2 とリビジョン 1.4.1.1 とをマージする場合に、リビジョン 1.2 をベースファイルとして使用します。リビジョン 1.1 または 1.0 をベースファイルとして使用することもできますが、マージを行うファイルにもっとも近いリビジョンを選択することをお勧めします。

Windows または UNIX でのファイルのマージ

ファイルをマージするには

- 1 マージの結果の追加先とするブランチまたはトランクのチップをロックします。
- 2 マージするバージョン管理ファイルまたはリビジョンを選択します。

マージするファイルを選択する場合は、以下を考慮に入れてください。

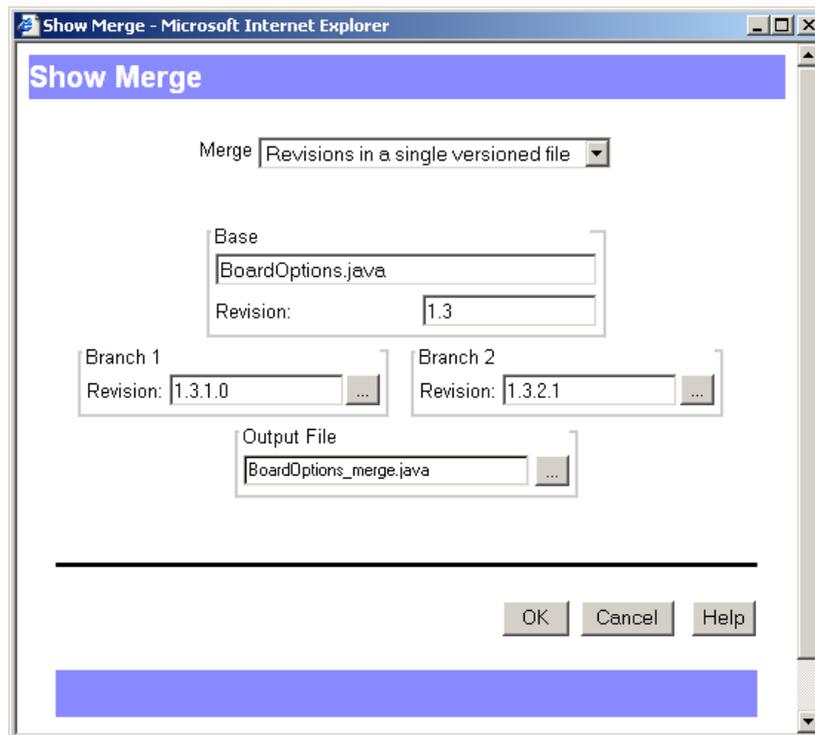
- ファイルを選択する順序によって、どのファイルがベースファイルとなり、どのファイルがブランチファイルとなるかが決まります。最初に選択したファイルがベースファイルになり、2 番目および 3 番目（Windows 版のみ）に選択したファイルがブランチファイルになります。

- 選択したアイテム（プロジェクト、バージョン管理ファイルまたはリビジョン）によって、表示される初期オプションが異なります。



注：[Show Merge (マージを表示)] ダイアログボックスが表示されている場合、このオプションを変更できます。

- (UNIX のみ) トランクおよびブランチリビジョンをマージするには、ベースファイルをトランクのチップリビジョンに設定し、ブランチファイルをブランチのチップリビジョンに設定する必要があります。
 - 同じプロジェクトデータベース内で、それぞれ異なるプロジェクトにあるリビジョンをマージするには、そのプロジェクトデータベースを選択します。異なるプロジェクトデータベースに配置されているリビジョンはマージできません。
 - (Windows 版のみ) 2 つのファイルだけをマージするには、〈Base (ベース)〉および〈Branch 1 (ブランチ 1)〉の各フィールドにそれぞれ同じファイルを入力し、2 番目のファイルは〈Branch 2 (ブランチ 2)〉フィールドに入力します。
- 3 [Actions (アクション)] - [Merge (マージ)] を選択します。[Show Merge (マージを表示)] ダイアログボックスが表示されます。



注：[Show Merge (マージの表示)] ダイアログボックスの内容は、選択したマージの種類によって異なります。

- 4 〈Merge (マージ)〉 ドロップダウンリストで、実行するマージの種類を選択します。

マージの対象	Windows の場合に指定するアイテム	UNIX の場合に指定するアイテム
リビジョンと作業ファイル	ベースファイルとそのリビジョン番号、ブランチリビジョン番号、ブランチ作業ファイル	ベースファイルとそのリビジョン番号、ブランチ作業ファイル
同じバージョン管理ファイルのリビジョン	ベースファイルとそのリビジョン番号、2 つのブランチリビジョン番号	ベースファイルとそのリビジョン番号、ブランチリビジョン番号
異なるバージョン管理ファイルのリビジョン	ベースファイルとそのリビジョン番号、2 つのブランチファイルとそれらのリビジョン番号	ベースファイルとそのリビジョン番号、ブランチファイルとそのリビジョン番号
作業ファイル	1 つのベース作業ファイルと 2 つの作業ファイル	1 つのベース作業ファイルと 1 つのブランチ作業ファイル

- 5 〈Base (ベース)〉 グループのファイルまたはリビジョンを変更する場合は、【Browse (...)] ボタンをクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。



注：UNIX 版のみ

UNIX 版でトランクとブランチリビジョンをマージするには、ベースファイルをトランクのチップリビジョンに設定する必要があります。

- 6 〈Branch 1 (ブランチ 1)〉 (Windows 版) または 〈Branch (ブランチ)〉 (UNIX 版) グループボックスのファイルまたはリビジョンを変更する場合は、【Browse (...)] ボタンをクリックして別のファイルまたはリビジョンを選択します。



注：UNIX 版のみ

UNIX 版でトランクとブランチリビジョンをマージするには、ベースファイルをトランクのチップリビジョンに設定する必要があります。

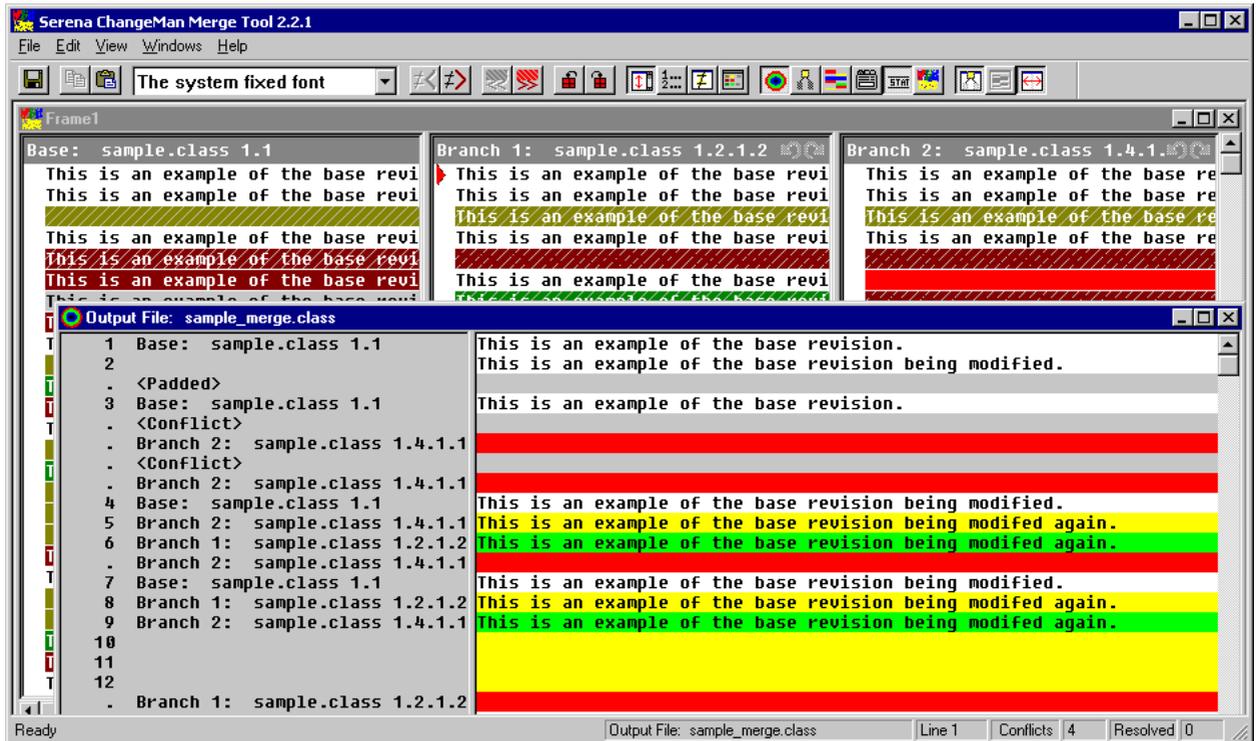
- 7 (Windows のみ) 〈Branch 2 (ブランチ 2)〉 グループのリビジョン (または、作業ファイルをマージする場合はファイル) を変更するには、【Browse (...)] ボタンをクリックします。

- 8 〈Output File (出力ファイル)〉 テキストボックスに、出力 (ターゲット) ファイルの名前を入力するか、【Browse (...)] をクリックして既存の作業ファイルを選択します。

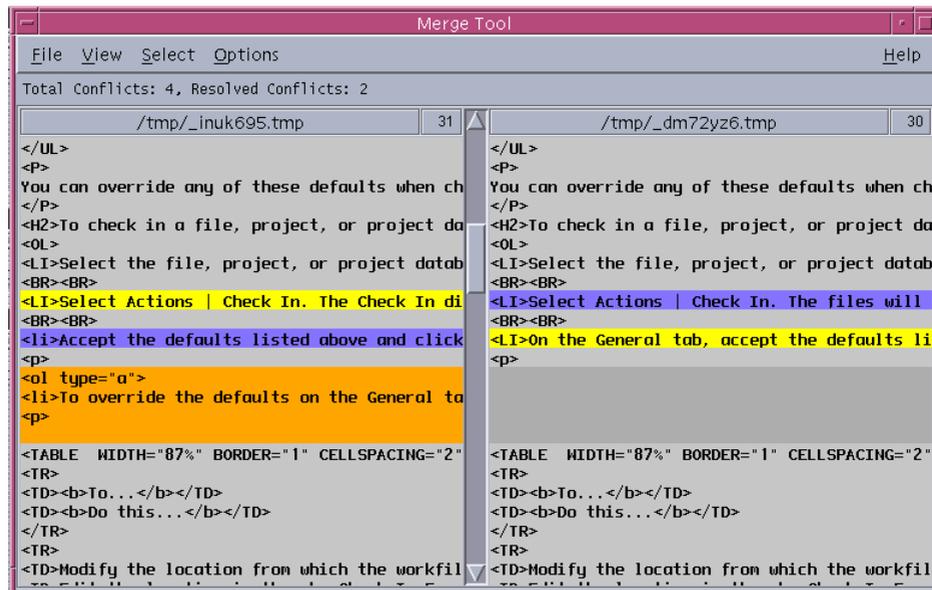


注：出力ファイル名をパスなしで入力した場合は、出力ファイルは Version Manager インストールディレクトリの BIN ディレクトリに作成されます。選択した場所にすでに同じファイル名が存在する場合は、古いファイルは上書きされます。

- 9 【OK】をクリックします。Windows 版では、ベースファイルとブランチファイルが〔Frames (フレーム)〕ウィンドウに表示され、マージ結果が〔Output File (出力ファイル)〕ウィンドウに表示されます。



UNIX では、ベースファイルとブランチファイルが〔Merge Tool〕ウィンドウに表示されます。



- 10 ベースファイルとブランチファイル間の競合を解決します。競合の解決方法については、次のいずれかを参照してください。
- 82 ページの『Windows 版でのファイル間の競合の解決』
 - 83 ページの『UNIX 版でのファイル間の競合の解決』

- 11 マージの結果を出力ファイルに保存するには、以下のうち 1 つを実行します。
- Windows では、[File (ファイル)] - [Save Target (ターゲットの保存)] を選択します。
 - UNIX では、[File (ファイル)] - [Save As (別名保存)] を選択して【OK】をクリックします。



注：出力パスまたはファイル名を再入力する必要はありません。

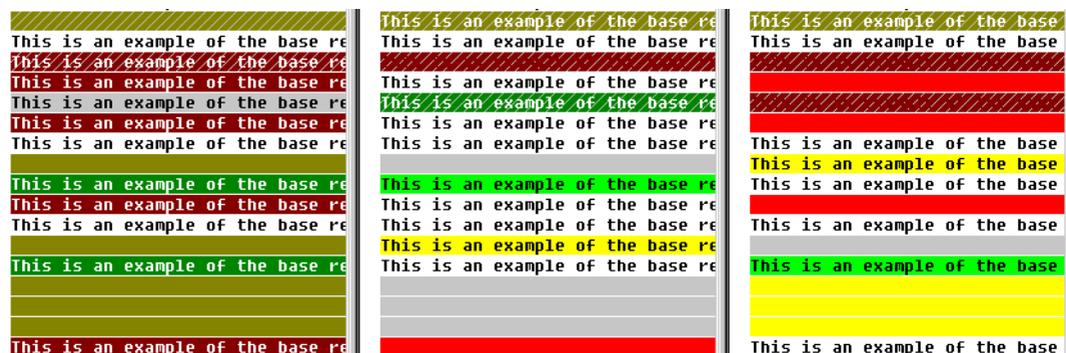
- 12 出力ファイルを開き、確認します。マージの結果が適切な場合は、手順 1 で選択したブランチまたはトランクのチップに出力ファイルをチェックインします。

Windows 版での相違点の解釈

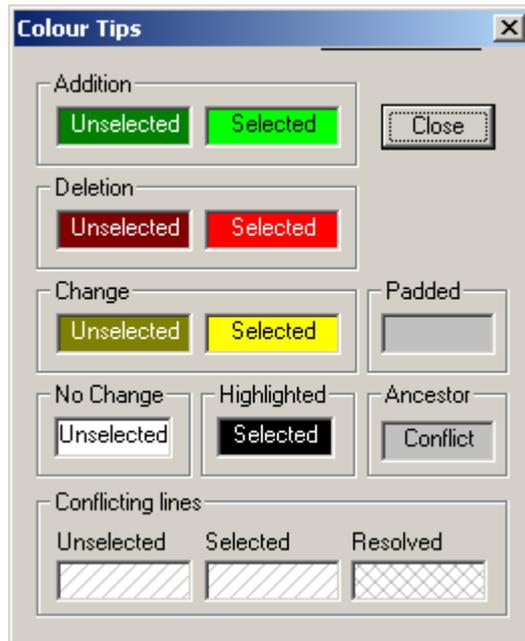
- 相違点の種類
- ベースファイルとして選択したファイルは、出力ファイルの土台として使用されます。ブランチ 1 とブランチ 2 はベースファイルと照らし合わせて比較されます。ベースファイルとブランチファイルとの間の相違点は、追加行、削除行、変更行のいずれかに分類されます。
- 追加行はブランチファイルに追加されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにはありません。
 - 削除行はブランチファイルから削除されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにあります。
 - 変更行はブランチファイルのひとつで修正されたテキスト行です。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。
 - 競合行は複数のブランチファイルで修正されたテキスト行です。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとでは異なります。

プレースホルダ

プレースホルダは、ファイル間の相違点のタイプの識別に使用される色のブロックです。相違点の各タイプ（追加、削除、および変更）には、選択と非選択をそれぞれ示す 2 つのプレースホルダ（色）が割り当てられています。



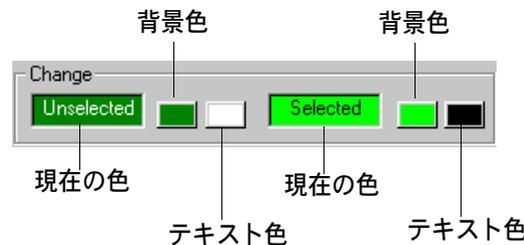
色の説明を表示 色の説明を表示して、それぞれの色が何を表しているのかを示すこともできます。色の説明を表示するには、Serena Merge Tool から【Color Tips (色の確認)】() をクリックします。[Color Tips (表示色)] ダイアログボックスが次のように表示されます。



プレースホルダの色の変更

プレースホルダの色を変更するには、次の操作を行います。

- 1 【Configuration (詳細設定)】アイコン  をクリックします。
- 2 [Colors (表示色)] タブを選択します。
- 3 変更する背景色またはテキスト色のボックスをクリックします。

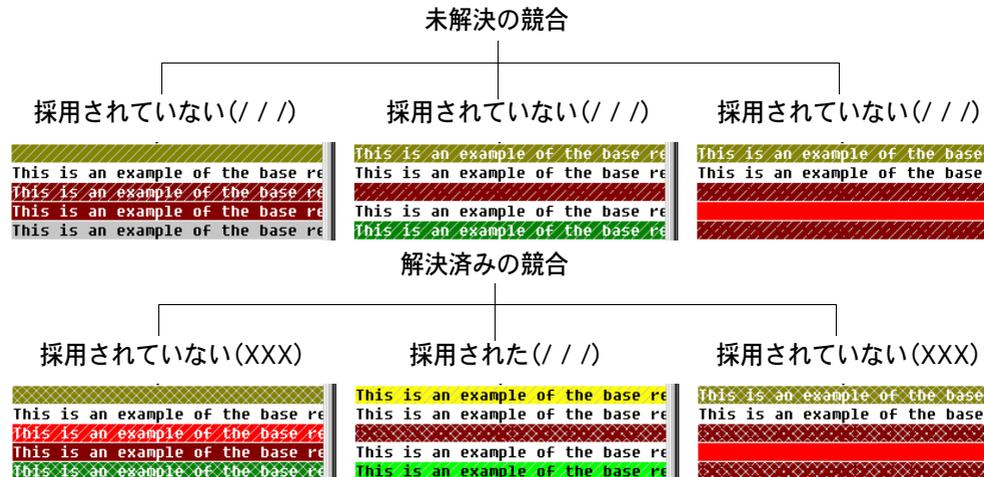


- 4 色のパレットから新しい色を選択して【OK】をクリックします。

競合

複数のブランチファイルの行の内容がベースファイルの行の内容と異なる場合に競合が起こります。

デフォルトでは、競合が起こったテキスト行には右斜線 (/ /) でシェードがつけられます。競合を解決すると、採用されたテキスト行にはこれらのシェードは残りますが、採用されなかったブロックのシェードは、右斜線から網目 (XXX) に変わります。



競合のシェードの変更

競合のシェードを変更するには、次の操作を行います。

- 1 【Configuration (詳細設定)】アイコン  をクリックします。
- 2 [Colors (表示色)] タブを選択します。
- 3 <Conflicting lines - Unselected, Selected and Resolved (競合行 - 採用されていない / 採用された / 解決済み)> ドロップダウンリストから、シェードパターンを選択します。



UNIX 版での相違点の解釈

相違点の種類 ベースファイルとして選択したファイルは、出力ファイルの土台として使用されます。ブランチファイルはベースファイルと照らし合わせて比較されます。ベースファイルとブランチファイルとの間の相違点は、追加分、削除分、変更分のいずれかに分類されます。

- 追加分はブランチファイルに追加されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにはありません。
- 削除分はブランチファイルから削除されたテキスト行です。このテキスト行はベースファイルにあります。

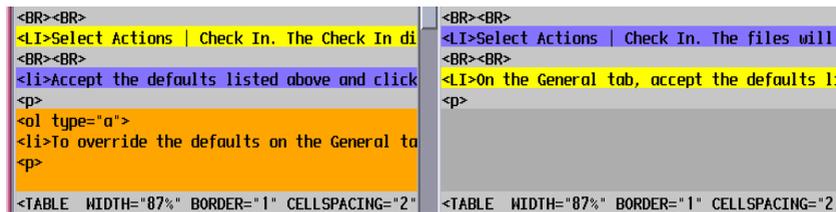
- 変更行はブランチファイルで修正されたテキスト行です。このテキスト行の内容は、ブランチファイルとベースファイルとは異なります。



注：UNIX 版では、変更行は競合とみなされるので、ユーザが解決する必要があります。

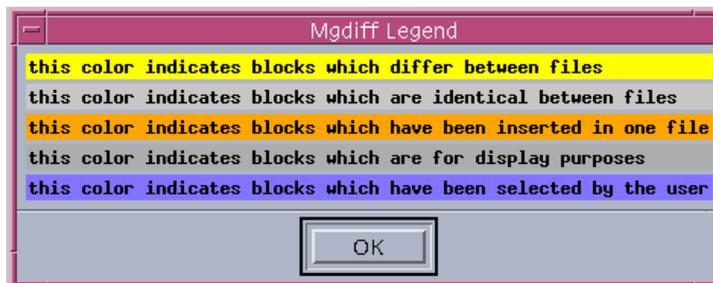
プレースホルダ

プレースホルダは、ファイル間の相違点のタイプの識別に使用される色のブロックです。相違点の各タイプ（追加、削除、および変更）には、選択と非選択をそれぞれ示す 2 つのプレースホルダ（色）が割り当てられています。



色の説明を表示

色の説明を表示して、それぞれの色が何を表しているのかを示すこともできます。色の説明を表示するには、Serena Merge Tool から [Help (ヘルプ)] - [Color Legend (色の説明)] を選択します。



プレースホルダの色の変更

プレースホルダの色を変更するには、テキストエディタで Mgdiff Legend ファイルを編集します。このファイルは Version Manager のインストール時に、/bin/app-defaults ディレクトリに置かれます。

Windows 版でのファイル間の競合の解決

デフォルトでは、Serena Merge Tool はすべての追加行、削除行、および変更行を自動的に出力（ターゲット）ファイルに挿入しますが、競合箇所は挿入しません。リビジョンのマージを正常に終了するには、すべての競合を解決する必要があります。

Windows 版では、ベースファイルと複数のブランチファイルとの間でテキスト行が異なっている場合に競合が起こります。どのブロックを採用するかは、Serena Merge Tool では判別できないので、どのテキストブロックを出力ファイルに入れるかをユーザが選択して、競合を解決する必要があります。



注：競合を解決するには、ベースファイルとブランチファイルの相違点を区別しておく必要があります。ベースファイルとブランチファイルとの間の追加行、削除行および変更行を区別する方法については、79 ページの『Windows 版での相違点の解釈』を参照してください。

ベースファイルとブランチファイルとの間の競合を解決するには、次の操作を行います。

- 1 Serena Merge Tool の [Frames (フレーム)] ウィンドウで、【Next Conflict (次の競合)】 () をクリックして競合のある次のブロックに進みます。
- 2 出力 (ターゲット) ファイルに表示するテキストの部分を右クリックすることによって、競合を解決します。選択した競合行は色が変わり、不採用となったブロックのシェードが解決済みを示すシェードに変わります。

競合ブロックを右クリックで選択する

			未解決
14 line12 . . 15 line13	14 line12 15 Resolved add conflict 16 Resolved add conflict 17 Resolved add conflict 18 line13	14 line12 15 Selected add conflict 16 Selected add conflict 17 Selected add conflict 18 line13	
			解決済み
14 line12 . . 15 line13	14 line12 15 Resolved add conflict 16 Resolved add conflict 17 Resolved add conflict 18 line13	14 line12 15 Selected add conflict 16 Selected add conflict 17 Selected add conflict 18 line13	

- 3 競合がすべて解決するまで、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
- 4 出力 (ターゲット) ファイルの内容をチェックします。適切な内容が出力ファイルにマージされているかどうか確認します。
- 5 [File (ファイル)] - [Save Target (ターゲットの保存)] を選択して出力 (ターゲット) ファイルを保存します。

UNIX 版でのファイル間の競合の解決

デフォルトでは、Serena Merge Tool はすべての追加行および削除行を自動的に出力 (ターゲット) ファイルに挿入しますが、変更行は挿入しません。リビジョンのマージを正常に終了するには、すべての競合 (変更行) を解決する必要があります。

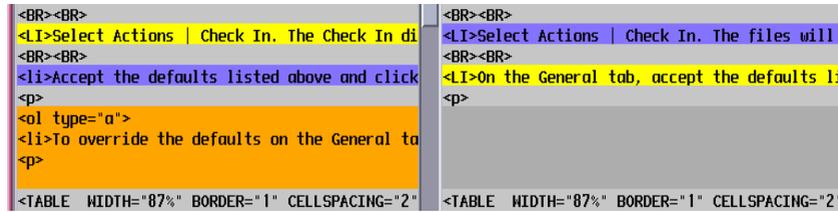
UNIX 版では、ブランチファイルでテキスト行が修正された結果、この行の内容がブランチファイルとベースファイルとで異なることになり、競合が起こります。どのブロックを採用するかは、Serena Merge Tool では判別できないので、どのテキストブロックを出力ファイルに入れるかをユーザが選択して、競合を解決する必要があります。

注：UNIX 版では、「変更行」は「競合」とみなされるので、ユーザが解決する必要があります。

注：競合を解決するには、ベースファイルとブランチファイルの相違点を区別しておく必要があります。ベースファイルとブランチファイルとの間の追加行、削除行および変更行を区別する方法については、81 ページの『UNIX 版での相違点の解釈』を参照してください。

ベースファイルとブランチファイルとの間の競合を解決するには、次の操作を行います。

- 1 [Merge Tool] ウィンドウで、競合する行をスクロールして表示します。
- 2 出力（ターゲット）ファイルに表示するテキストブロックを採用して、競合を解決します。採用した競合行は色が変わります。



- 3 競合がすべて解決するまで、手順 1 ~ 2 を繰り返します。
- 4 [File (ファイル)] - [Save As (別名保存)] を選択し、【OK】をクリックして出力ファイルに競合の結果を保存します。出力パスまたはファイル名を入力し直す必要はありません。

索引

数字

1 ページあたりの表示数、設定 57

N

N 通りのマージ 74

S

Serena Merge Tool 74

Serena、問い合わせ先 8

SourceBridge 15

T

TeamTrack 15

TrackerLink 13

V

Version Manager Web クライアントとデスクトップ
クライアントの比較

バージョンラベル 12

プロモーショングループ 12

Version Manager Web クライアント

オプション 56

機能 10

とデスクトップクライアント 11

表示部 28

20

接続 20

クライアントアプレット 20

W

Web ブラウザ

クライアントアプレットのインストール 20

あ

アイコン、説明 31

アイテム

移動 37

削除 39

選択 36

名前の変更 38

プロパティの参照 40

え

エディタ、デフォルト 59

お

オンラインヘルプ

アクセス 7

コマンドラインインターフェイス用 7

デスクトップクライアント用 7

か

概要

Version Manager Web クライアント 10

Version Manager Web クライアントのオプション 56

マージ 74

ワークスペース 60

き

規則、表記上 7

競合

解決

UNIX 版 83

Windows 版 82

シェードの変更 81

種類 81

く

区切り文字、フィールド 57

クライアントアプレット 20

クライアントアプレットのインストール 20

け

結果ダイアログボックスを自動的に閉じる 59

さ

最下位レベルのプロモーショングループ 64

再帰的フィルタ、ファイル 42

作業ファイル

追加 10

場所 62

比較 68

作業ファイルの追加 10

削除

バージョン 5.3/6.0 フォルダ 39

バージョン管理ファイル 39

フィルタ 53

プロジェクト 39

サブプロジェクト、追加 58

し

システム要件 18

自動ブランチ 63

出力ファイル 74

取得

作業ファイルよりも新しいリビジョン 58

す

ステータス表示部 35

せ

製品サポート 8

設定

1 ページあたりの表示数 57

Version Manager Web クライアントのオプション 56

作業ファイルの場所 62

ワークスペース 61

ワークスペースプロパティ 60

選択

バージョン管理ファイル 36

プロジェクト 36

プロジェクトデータベース 36

リビジョン 36

そ

相違点

解釈 70

表示 68

相違点レポート 10, 68

相違点レポート、「ファイルの比較」を参照 68

た

ターゲットファイル、「出力ファイル」を参照 74

ち

チェックアウト 10

チェックイン 10

て

定義

デフォルトの取得オプション 58

デフォルトのチェックインオプション 58

デフォルトプロモーショングループ 64

デフォルトリビジョン 63

デフォルト

エディタ 59

デフォルトのワークスペース 61

デフォルトプロモーショングループ 64

デフォルトリビジョン 63

な

内容表示部 29

名前の変更

バージョン 5.3/6.0 フォルダ 38

プロジェクト 38

は

バージョン 5.3/6.0 フォルダ

削除 39

名前の変更 38

バージョン 5.3/6.0 のプロジェクト

プロパティの参照 40

バージョン 5.3/6.0 フォルダ

プロパティの参照 40

バージョン管理ファイル

移動 37

コピー 11

削除 39

選択 36

比較 68

フィルタ 41

プロパティの表示 40

バージョン管理ファイルの移動 37

バージョン管理ファイルのコピー 11

バージョン管理ファイルのフィルタ 41

バージョンラベル 10, 12

フィルタの基準 45, 48, 50, 51

パスワードの変更 24

パブリックワークスペースとプライベートワークスペース 60

ひ

比較ファイル、「ブランチファイル」を参照 74

表記上の規則 7

表示

ファイル間の相違点 68

ファイルの再帰的な表示 42

表示部

ステータス 35

内容 29

プロジェクト 28

メニュー 32

リビジョン 30

ふ

ファイル

出力 74

比較 68

ブランチ 74

ベース 74

ベースファイルの選択 75

マージ 74

ファイルの比較 68

概要 68

相違点の解釈 70

相違点の表示 68

例 71

ファイルのマージ 74

フィールド、説明 31

フィルタ

2つのバージョンラベルの比較による 48

2つのプロモーショングループの比較による 50

再帰的 42

バージョンラベル 45, 48, 50, 51

バージョンラベルとプロモーショングループの比較による 51

バージョンラベルを使用 45

プロモーショングループ 46

ロック 43

ロックユーザ 43

ワイルドカード 44

ワイルドカードファイル名を基準 44

ブランチ

ファイル 74

ブランチ、自動ブランチの設定 63

プレースホルダ

UNIX版での色の変更 82

Windows版での色の変更 80

プロジェクト

削除 39

作成 10

選択 36

名前の変更 38

プロパティの参照 40

ログイン 23

プロジェクトデータベース

オープン 22

クローズ 25

選択 36

プロパティの参照 40

ユーザの変更 25

ログアウト 25

ログイン 22

プロジェクトデータベースからのログアウト 25

プロジェクトの作成 10

プロジェクト表示部 28

プロモーショングループ

Version Manager Web クライアントとデスクトップク

ライアントの比較 12

デフォルトの定義 64

フィルタの基準 46

分離文字、フィールド 57

へ

ベース

ファイル 74

変更

パスワード 24

ユーザ 25

ま

マージ

N通り 74

概要 74

競合

シェードの変更 81

種類 81

競合の解決

UNIX版 83

Windows版 82

結果の解釈

UNIX版 81

Windows版 79

種類 74

ファイルのマージ

Windows版 75

プレースホルダ

UNIX版 82

UNIX版での色の変更 82

Windows版 79

Windows版での色の変更 80

ベースファイルの選択 75

マージプロセス 75

用語と定義 74

め

メニュー表示部 32

も

元ファイル、「ベースファイル」を参照 74

り

リビジョン

- 作業ファイルよりも新しい場合に取得 58
- 自動ブランチ 63
- 取得 10
- 選択 36
- デフォルトの定義 63
- 比較 68
- ロック 10
- ロック解除 10
- リビジョンの取得 10
- リビジョンの比較 68
- リビジョン表示部 30
- 履歴レポート 10

る

ルートワークスペース 60

れ

レポート

- 相違点 10, 68
- 履歴 10

ろ

ログイン

- プロジェクト 23
- プロジェクトデータベース 22
- ロック 10
 - フィルタの基準 43
- ロック解除 10
- ロックユーザ
 - フィルタの基準 43

わ

ワークスペース

- 設定 61
- パブリック 60
- プライベート 60
- ルート 60
- ワイルドカードファイル名
 - フィルタの基準 44